九州大学白熱講義に参加しませんか?

この「履修の手引き」は 2010 年 12 月 1 日に設立された九州大学 / ロバート・ファン / アントレプレナーシップ・センター (略称:QREC)が、2012年4月以降に開講する科目群の 履修方法につき、説明するために作成したものです。

QRECは、九州大学卒業後に米国に渡りビジネスで大成功を収めたロバート・ファン氏の、九州大学百周年記念寄附金をきっかけとして、従来の九州大学 / ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー(略称VBL)を改組、新しく設立された組織ですが、九州大学の全学部・全大学院の学生に対して、体系的かつ最先端を行くアントレプレナーシップ関連教育を提供することにしています。

その目標とするところは、九州大学で学ぶ皆さんが、自分たちの持つ可能性を最大限に発揮して自らの夢を実現するとともに、世界のあらゆるところで新しい価値を創造できる人間になることができるように、体験と知識習得の機会を提供することです。それは同時に皆さんを、世界で活躍するリーダーとして必要な自立心、向上心、そしてグローバル感覚を持つ人材に育成することでもあります。すなわち皆さんが"個人ベースのイノベーション"を起こすためのサポート役になることを目指しているのです。

したがってQRECの講義科目は、ベンチャー企業の起業に限らず、大企業や大学研究者、NPO、あるいは公的組織など、社会の様々な分野で新しい価値を実現することにチャレンジする人材の育成を念頭に、多様なメニューを準備しています。また講義の方法も、学生/講師間のディスカッションなど学生参加型スタイルや、ケーススタディ、ビジネス界で活躍するゲストの積極的な招聘、実際のプロジェクト実現をテーマとした教育法、ワークショップ・・・・など、学生の皆さんの学習意欲が高まるように様々な工夫をしています。きっとワクワクするような講義を体験できるものと思っています。

またQREC科目は、専門科目の学習だけでは得られない幅広い問題発見能力や課題解決能力を 養成するだけでなく、その学習によって専門領域の学習や研究の意欲を高めることにもなります。 このQREC科目は全学教育科目または大学院共通教育科目として提供されますが、その数が多 くまた体系的に設計されていますので、学生の皆さんは在学中に専門科目の履修と併せ、副専攻 的な位置付けで是非履修してもらいたいと思っています。

この「履修の手引き」を参考にして多くの学生の皆さんが受講されることを願っています。

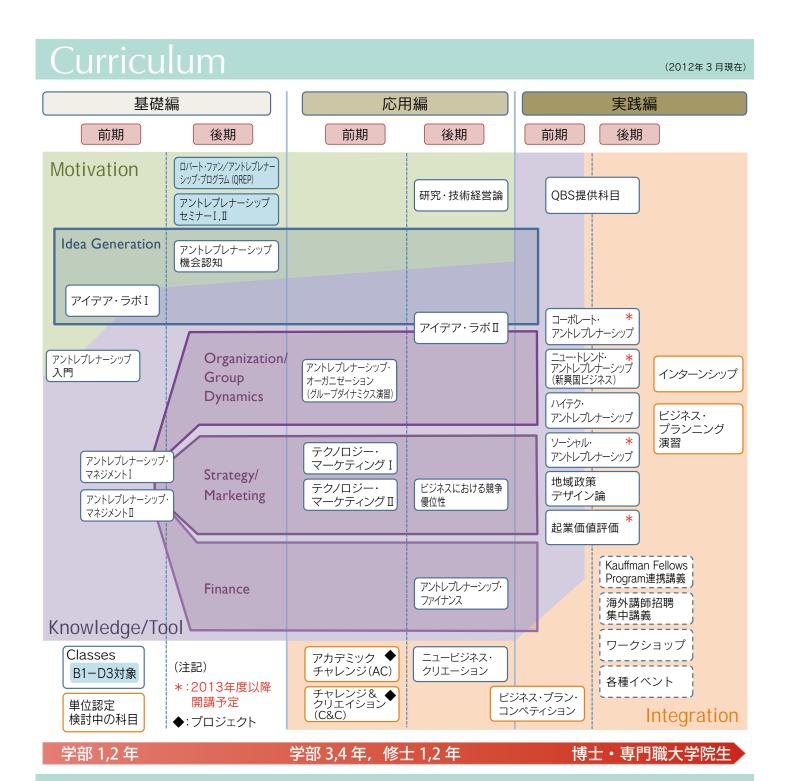
九州大学ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター (QREC)

センター長 谷川 徹

目 次

カリキュラム	i
あなたは最近2年間で失敗したことがありますか?	ii
I. QREC 科目を学ぶにあたって	1
 キャリア・デザイン〜自分の人生をデザインする。 変化と向き合う〜不確実性との付き合い方 キャリアデザインとアントレプレナーシップ 	1 2 4
II. QRECの目指すもの	6
Ⅲ. QREC の単位取得可能な教育プログラムについて	8
1. 教育プログラムの狙い (単位取得可能な科目+それ以外のプログラム)	8
2. QREC 科目群の特色と体系	8
3. 修了証明書の発行	13
4. 履修モデル	15
5. 科目一覧及び教室	18
IV. QREC 科目の履修方法	22
V.QBS 提供科目の履修方法	23
VI. 履修生の声	24
Ⅷ. QREC 学生プロジェクト	27
Ⅷ. QREC 科目 シラバス一覧	31
IX.QBS 提供科目 シラバス一覧	51

カリキュラム



このカリキュラムは、全学の学生が副専攻的な位置付けで履修できます。上図のように基礎から実践へと段階的にアントレプレナーシップが学習できるようにデザインしてあります。最初は、周囲の「問題」や自らの「志向」に気付くことが大切です。次に問題解決のためには「アイデアを創出」(Idea Generasion) する創造性を鍛え、「市場」を知り「戦略」を考え(Strategy/Marketing)、「お金」(Finance)集め、仲間を募り「組織的な活動」(Organization/Group Dynamics) に拡大させる必要があります。このために必要な知識やノウハウ(Knowledge/Tool)を学び、それを統合(Integration) し実践できるまでの科目を用意してあります。

ありますか? 失敗したことが

九州大学ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター (QREC)はすべての九州大学の学生・大学院生を対象 とする教育プログラムを提供しています。その『履修の手引き』はQRECの教育プログラムを体系的に理解いただくため に作成しました。でも、『履修の手引き』の説明を始める前に「あなたは最近2年間で失敗したことがありますか?」とお 尋ねするところから始めましょう。

この問いは米国の著名な起業家が社員の採用面接の時 に必ず尋ねる問いなのです。彼は続けます。

「挑戦し続ければ必ず失敗は訪れる。成功し続けることなんて有り得ないから。失敗した経験がないと言うのであれば、それは成功し続けたからではなく、挑戦していないから失敗の経験がないのです。私の会社には挑戦しない人材は必要ではありません」。つまり、「成功すること」と「失敗しないことは」イコールではないのです。あなたは最近2年間で失敗したことがありますか?言い換えると、あなたはこの2年間で何回の挑戦をしましたか? なぜ、あなたにこのような問いをするところから始めるのか、読み進めていくと、きっと、あなたにも理解いただけると信じています。

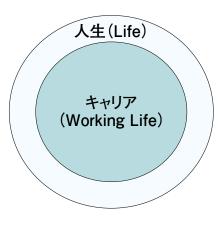
I. QREC 科目を学ぶにあたって

1. キャリア・デザイン ~ 自分の人生をデザインする

昨日の夢は、今日の希望であり、明日の現実である。 by ロバート・ゴダード

みなさんは「キャリア」という言葉を聞いて、何を思い浮かべますか? キャリアとは、一言でいえばその人の人生(Life)のなかでの仕事あ るいは働くこと(Work)、すなわちワーキングライフ(Working Life) のことです。学年が進むにつれて、多くの皆さんは「就活(就職活動)」 と向き合う場面が出てきます。

実は、これまで当然と考えられていた終身雇用と年功序列を基本とする日本の雇用スタイルは変容を遂げてしまいました。企業の採用活動も新卒重視から中途採用の併用が常態化しました。これからは、意図して、あるいは意図せず、はたまた偶然に、会社を変える、転職す



ることが日常的なこととなるでしょう。キャリアを変えることは欧米ではすでに当然の選択肢となっており、 日本でもその傾向が顕著になっただけなのです。

日本の平均寿命は男性が 79.64 歳、女性が 86.39 歳 (厚生労働省「H22 年度簡易生命表」)と発表されています。 現在、学生である皆さんが、ストレートに博士課程まで進学を続けたとしたら(専攻によって多少異なりますが)、「学生」をそのまま続けられるのは 30 歳位までですね? そうであれば、平均寿命から考えると学生でいる時間よりも働く時間の方が長い。"人生の大半はキャリアである"と言い換えることができます。もし、皆さんが"幸せな人生を過ごす"ことを望むのであれば、少なくとも自分の意図するように"人生をデザイン"できれるのであれば、自分の人生に少しは納得できるはずです。人生の大半がキャリアであるならば、"キャリアを自らデザインする"ことが出来るのであれば幸せになる可能性は高まるはずです。キャリアを自分でデザインできるようにするためには、他にも方法はあるかも知れませんが、①自分の価値を高める。②自分の選択肢を増やす。ことは大切な方法と思いませんか?



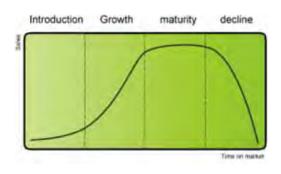
2. 変化と向き合う ~ 不確実性との付き合い方

(1) 会社の寿命は30年?

未来は偶然手に入るものではない。自分の未来は自分で創るものだ。 by ロジャー・スミス

皆さんは「会社の寿命 30 年」説を聞いたことがありますか? ビジネス系の雑誌として有名な「日経ビジネス」が 1983 年 9 月、株式上場企業の総資産額のランキング分析を基に唱えたもので、「企業にも寿命があり、優良企業とはやされても盛りは 30 年まで」という結論付けるものです。この「会社の寿命 30 年説」は当時、衝撃的に受け止められました。経営学の技術経営(Management of Technology)の領域では、製品や産業には寿命(Life cycle)が存在し、製品や産業は導入期(Introduction) →成長期(Growth) →成熟期(Maturity) →衰退期(Decline)に分類され、サイクルによって規模が増大し減少するというものです。





産業のライフサイクルを示しましたが、大学生が就職を希望する人気企業のランキングが、様々な調査会社から毎年発表されています。これを1965年から5年単位で推移を見たものが下の表です。1965年から変わらずにベスト10入りしている企業もあります。でも、よく見ると合併した会社が多いですよね?そのような企業はなぜ合併することが必要だったのでしょう?また、なぜ人気ランキングが変動するのでしょう?

大学生が就職を希望する人気企業ランキング推移

順位	1965年	1970年	1975年	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年
1	東洋レーヨン	日本航空	日本航空	東京海上 火災保険	サントリー	NTT	NTT	ソニー	トヨタ自動車	三菱商事
2	大正海上 火災保険	日本IBM	伊藤忠商事	三井物産	東京海上 火災保険	ソニー	東京海上 火災保険	NTT	電通	三菱東京 UFJ銀行
3	丸紅飯田	丸紅飯田	三井物産	三菱商事	三菱商事	三井物産	三菱銀行	NHK	JTB	住友商事
4	伊藤忠商事	東京海上 火災保険	朝日新聞社	日本航空	住友銀行	三菱銀行	三井物産	NTTF⊐モ	サントリー	東京海上 日動火災保険
5	東京海上 火災保険	伊藤忠商事	三菱商事	NHK	日本電気	東京海上 火災保険	伊藤忠商事	サントリー	日本航空	みずほFG
6	三菱商事	三井物産	丸紅	サントリー	富士銀行	三和銀行	JR東海	JTB	全日本空輸	三井物産
7	旭化成工業	三菱商事	東京海上 火災保険	三和銀行	三井物産	JR東海	三和銀行	電通	JR東海	三井住友銀行
8	松下電器産業	松下電器産業	NHK	安田火災 海上保険	日本IBM	住友銀行	三菱商事	博報堂	日産自動車	丸紅
9	住友商事	住友商事	JTB	日本生命保険	松下電器産業	日本航空	第一勧業銀行	本田技研工業	博報堂	第一生命保険
10	三和銀行	電通	電通	住友商事	日本生命保険	全日本空輸	富士銀行	資生堂	本田技研工業	三菱UFJ 信託銀行

(リクナビのデータを基に作成)

ここまで「会社の寿命 30 年説」や、産業のライフサイクル、それから就職の人気企業ランキングの変動についてお話しして来ました。それでは、**皆さんが就職活動するときには、どんな視点から就職する会社を選びますか?**「"良い会社"に就職したい」。でも、**"良い"会社ってどんな会社ですか?**

(2) 不確実性と付き合う

最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が残るのでもない。 唯一生き残るのは変化する者である。 by チャールズ・ダーウィン

既にお話ししたように、みなさんのキャリアつまり働く時間は、これまで過ごした学生生活の倍以上の長さとなるでしょう。もし、「会社の寿命30年説」が正しいとしたら、皆さんが最大の能力を発揮している時分に会社の寿命が尽きてしまうことだって起こるかもしれません。近年の情報通信技術(ICT)の発達によって、一瞬で新しい情報や知識は世界中を駆け巡ります。国際化の進展により世界各所の出来事が即座に自分の周囲に影響を及ぼすようになって来ました。世の中の変化のスピードはどんどん加速します。皆さんが考える"良い会社"は、今の状況"良く見える会社"ですか?それとも、将来、"良くなる可能性を秘めた会社"ですか?それではどんな会社を選べば良いのでしょうか?

進化論の提唱者チャールズ・ダーウィンは、「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が残るのでもない。 唯一生き残るのは変化する者である。」という言葉を残しています。中生代ジュラ紀(2 億 1200 万 ~ 1 億 4300 万年前)においては恐竜は最強の生物であったでしょう。しかし、生きた彼らの姿を見ることが

できません。絶滅により博物館の骨格標本から当時の姿を想像するだけです。現代はわれわれ人類を頂点とする哺乳類に代表される時代です。それでは、なぜ、恐竜は絶滅し、哺乳類は生き残れたのでしょう?ダーウィンに由れば"変化"し環境に"適応"できたからですよね。皆さんは「恐竜に着いて行く(Follow the dinosaurs)」ことを選びますか?それとも、「わが道を行く(Go your own way)」ことを選びますか?



"変化"が怖いですか?確かにそういう面があるかも知れません。なぜ、変化が怖いのか?この問いに、将来、どうなるか予測が付かないから?不確実だから?リスクが高いから?いろいろな回答が寄せられるでしょう。日本では、この"リスクが高い"という回答が多いように感じます。

リスクの定義はたくさんありますが、「ある行動に伴う(あるいは行動しないことに伴う)、危険に遭う可能性や損をする可能性」とすること一般的です。金融の世界では、リスクはリターンと対で考えることが多く、「リスクが高いものは利得(損失)の度合いが期待リターンに対して高くなる。また期待リターンの大きいものはリスクも大きい」。なので、リスクの高いものはリターンも高い、リスクの低いものはリターンも低いのが通常です。確率や統計を用いて期待リターンを見積もることが多いので、考えてみるとすぐにわかりますよね?誰もリスクが高くリターンが低いものは望みません。一方で、リスクが低くリターンが高いものであれば誰もが望むので結果的に競争状態となり均衡することになります。

次に "不確実性"とは何でしょう?リスクと同義で語られることが多いのですが、経済学者は、「これから起こることが確実でないことで、特に起確率すら計算できない場合」を指すとしています。世の中が一定の方向に動いている状態でであればこれから起こることを予測できます。そうであれば誰もが同じ選択をするでしょう。しかし、世の中が劇的に、しかも、刻一刻と変化する、つまり、不確実性が高いのであれば、将来を予測することは困難であり、今まで通りのやり方は通用しません。しかし、そう考えると、予測できるのであれば、先に行って人にはいつまで経っても追いつけませんが、不確実性が高ければ、上手くやれば全く異なる成功を収めることが出来るかも知れません。だからこそ、"不確実性"とうまく付き合ってみようと思いませんか?

3. キャリア・デザインとアントレプレナーシップ

どんな馬鹿げた考えでも、行動を起こさないと世界は変わらない。 by マイケル・ムーア

ここでアントレプレナーシップ(entrepreneurship)について見ましょう。アントレプレナーシップは、近年、経営学・経済学・産業政策論・地域経済論など学問領域ばかりではなく国や地域の産業振興に対する切り札として、世界的に注目を集めるホットなテーマです。

残念ですが、日本におけるアントレプレナーシップの研究及び教育は相対的に注目度が低く、アントレプレナーシップの最も狭い定義である "会社を興すこと"、つまり "起業すること" ばかりを強調しすぎる傾向があります。それで、日本では「アントレプレナーシップ」の訳語として「起業家精神」を充てられることが多いのでしょう。アントレプレナーシップを日本に導入したのは 1980 年代初頭でした。当時、アメリカ東海岸のボストン周辺(ルート 128 周辺)と西海岸のシリコンバレーでは、若手起業家が創設した新興企業群が半導体産業やコンピュータ、ソフトウェア分野を牽引しており、例えば、スティーブ・ジョブスの Apple など、彼らが起業した会社が世界企業へ急成長するのと並行して、その地域にいくつもの新産業が立ち上がり、世界経済にインパクトを与えるようになっていました。その新たな企業群が経済や産業を牽引するシステムを日本へ移植したいと考え、その中心にあるものが、"新たな企業(あるいは事業)の立ち上げ"あるいはそれを支える「挑戦心」だと考え、「起業家精神」の訳語を当てたのでしょう。

一方、欧米における"アントレプレナーシップ"の定義は起業という特別な行動を指すものではありません。 日常的に使われる言葉なのです。例えば、大学においてある学生が新しいサークル活動を始めるアイデアを 提案した時に、それを聞いた彼の仲間たちは「彼ならきっとやり遂げるよ。彼はアントレプレナーシップを持っ ているから」というような表現が当たり前に使われています。

とは言え、アントレプレナーシップは学生の皆さんには聞きなれない言葉でしょうから、参考までに、最近の欧米の代表的なアントレプレナーあるいはアントレプレナーシップの定義を2つほど挙げておくことにしましょう。

アントレプレナーシップ教育領域で最高の評価を受けているバブソン大学(Babson College)では、

"A way of thinking and acting that is opportunity obsessed, holistic in approach and leadership balanced"

(リーダーシップ・統合的なアプローチ・機会志向 の組み合わせによってもたらされる思考・行動体系)

著名な経営学者ドラッカー (Drucher) は、

"the entrepreneur always searches for change, responds to it, and exploits it as an opportunity"

(アントレプレナーは、常に変化を探し求めて、それに反応し、機会として活用する)

この2つの定義を見てわかるように、「アントレプレナーシップ」の概念は、「機会」に大きな焦点と当てていますが、すでに述べたように "会社の立ち上げ" (≒起業) に留まるものではなく、加えて "精神"で表される "考え方、心構え"のような側面に加えて、必ず "行動 (action)" が伴うものと考えられているのです。だからこそ、我々のセンター (QREC) が目指す教育やそのための研究は日本語の "起業家精神"あるいは "起業家教育"という言葉で表現するのでは、敢えて"アントレプレナーシップ"を充てているのです。蛇足ですが、だからと言って学生の皆さんの"起業への志"をないがしろにするものではありません。アントレプレナーシップを構成する大きな要素であることは十分理解しています。だからこそ、起業を志す学生に最大限の支援を惜しまないつもりです。とはいえ、「起業するか否か」、あるいは「いつ、起業するのか」は最終的に一人一人が自分で決めることであり、個々の意思が一番大切ですよね。

この『履修の手引き』の書き出しは、「あなたは最近2年間で失敗したことがありますか?」という質問から始めましたが、ここで「あなたはアントレプレナーシップを持っていますか?」という質問に置き換えることが出来ます。その後、この章では「キャリア・デザインとアントレプレナーシップ」という視点から話を進めて来ました。よりよいキャリアを選ぶためには、①自分の価値を高めること。②自分の選択肢を増やすこと、の2つが大切だと示しました。そのためには不確実性と上手に付き合うことが大切だと。つまり、ドラッカーが指摘するように、"変化"を"機会"として捉えて、不確実ではあるかも知れないし、挑戦すれば失敗することが多いかも知れないけれど、そこから学ぶことが多いのも事実です。QRECにおけるアントレプレナーシップ教育では、学生の皆さんのアントレプレナーシップに関する知識やスキルの向上を支援します。それ以上に、九州大学在学中に皆さんの経験値を増やすために出来るだけ多くのことに挑戦できる機会を提供していくこともQRECの使命だと考えています。



II. QREC の目指すもの

未来を予測する最善の方法は、自らそれを創り出すことだ。 by アラン・ケイ

すでに QREC の目指すものは、単に起業を促すものでも精神的なものに留まるものではないことをご説明しました。だからこそ「起業家教育」あるいは「起業家精神教育」ではなく「アントレプレナーシップ教育」を目標に掲げているということも。少し硬い話になるかも知れませんが、ここでは QREC の使命、育成すべき人材像、特色を簡単に記載しておくことにしましょう。

1. QREC の使命

QREC の使命は下記に掲げる3つである。

- 九州大学の学生に対し、先進的なアントレプレナーシップ関連教育を提供することにより、九州 大学から自立心、向上心、グローバル意識を有し、積極的に新しい価値創造にチャレンジする、 世界に羽ばたくリーダー人材を輩出する。
- 起業に限らず、大企業、アカデミア等を含む社会のあらゆる分野で、新たな価値創造に挑戦する 人材育成を目指す。
- 地域におけるアントレプレナーシップ醸成のハブを確立する。

2. 育成すべき人材像

QREC の育成すべき人材像は下記の5つのタイプある。

- 自ら機会を発見・創造して、目標と道筋を構想する能力ある人材
- 新たな価値創造に対して積極的に挑戦する人材
- 個人として自立意識を持つ人材
- 社会や世界を幅広く俯瞰できる知識と能力を持つ人材(T字型人材、グローバル人材)
- 知識を社会で活かす意欲と具体的価値を創造する能力ある人材(MOT 人材)

3. QREC の特色

- **学部 / 大学院一環の体系的アントレプレナーシップ教育** 日本で初めて、学部生・大学生を対象とした一貫的、体系的アントレプレナーシップ教育の提供
- アントレプレナーシップ教育、MOT 教育の融合 広義のアントレプレナーシップ教育を採用し、リーダー人材を育成する。
- グローバル性重視

世界主要大学等と連携し、最適・最良のリソースと交流機会を確保し、留学生の積極的参加、国際関係学部(構想中)との連携等による国際的な教育を提供する。

○ 分野融合・多様性確保

工学研究院、システム情報科学研究院、農学研究院、芸術工学研究院、21世紀プログラム等、 学内各部局と相互連携した教育を企画・実施する。部局横断的なプロジェクトを企画し多様なバッ クグラウンドの学生の融合を図る。

○ プラクティカル、産学連携

国際的な学生ネットワークへの参加を慫慂する。双方向型・参加型教育を提供する。 具体的なプロジェクトを基礎とすることで、リアルな体験型教育を目指す。 産業界と積極的に連携することで人材や教育の場を確保し実践的教育を目指す。

○ 現代ニーズ対応

新興国ビジネス、社会的起業家等、現代の多様かつ新たな動きに対応する。



III. QREC の単位取得可能な教育プログラムについて

常識とは、18歳までに身につけた偏見のコレクションのことをいう。 by アルバート・アインシュタイン

QRECでは、学生の皆さんのアントレプレナーシップを涵養することを目的にしております。そのためには先端的な知見を獲得し教育にフィードバックさせるための研究活動、教育環境を整えるための国内外の大学や行政、企業との連携を模索する活動など多くの活動を行っています。

ここからは本来の「履修の手引き」の目的に沿って、QRECの活動のうち教育プログラムに関するものに絞って説明していきます。それ以外の活動に関心や興味を持っていただいたのであればお気軽にお問合せ下さい。 さて、それでは次節からは教育プログラムについて説明を続けることにしましょう。

1. 教育プログラムの狙い(単位取得可能な科目 + それ以外のプログラム)

すでにお話したように QREC が提供する教育プログラムは、広義のアントレプレナーシップ涵養を目指すものです。しかも、アントレプレナーシップは行動を伴う概念であることもすでにお示ししました。ですので、QREC の教育プログラムは、当然のこととして、学生自らが自らの意思で「行動」を始める段階までを教育の対象としています。つまり、QREC が教育の狙いとするものは「アントレプレナーシップを持って考え、行動する(Entrepreneurial Thinking and Action: E.T.A)」ことであり、すべての九大生の E.T.A を高めることが QREC 教育プログラムの目的となります。

E.T.A を高めるために QREC では多種多様なプログラムを網羅的、総合的な提供を目指しています。これを整理すると、大きく2つのプログラムから成り立っています。①九州大学の正規な科目として単位取得可能な QREC が提供あるいは推奨する科目群(以下、QREC 科目)、もう一つは、②単位の取得は出来ないが学生に実践の場を提供するその他のプログラム群です。この2つめのプログラムでは国内外のビジネス・インキュベータ (BI) やベンチャー・キャピタル (VC) など、アントレプレナーシップを推進する機関・企業と提携あるいは連携を前提とするインターンシップ・プログラムや共同開催のイベントが中心となります。この「QREC 科目群」(①) 及び「その他のプログラム」(②) にともに、QREC では段階的に拡充・強化していく計画です。

「QREC 科目群」及び「その他のプログラム」は、ともに E.T.A. 教育には、重要な意味を持っていますが、この「履修の手引き」では、単位履修可能な「QREC 科目群」に関する解説を行っていきます。

2. QREC 科目群の特色と体系

QREC 科目群(九州大学の正規な科目として単位取得可能な QREC が提供あるいは推奨する科目)の特色は次の3つを挙げられます。

- ① 体系的かつ段階的に構成された日本初の総合的なアントレプレナーシップ教育プログラムです。
- ② 九大全学横断的、かつ、学部1年生から修士課程、修士課程、専門職大学院課程までの履修が可能です。
- ③ 全18科目(26科目程度まで拡大予定)で単位取得が可能です。一方で、半期に最大2科目を目 途に履修していけば、学部1年から修士2年までの6年間で専門科目の履修を妨げることなく、 網羅的にQREC科目の履修が可能です。

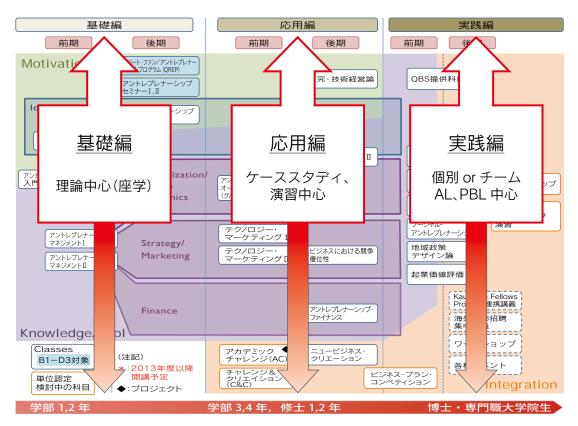
2-1. 科目の種類

- QREC 提供科目群は、①「総合科目」、②「高年次教養科目」、③「大学院共通教育科目」、④「経済学府産業マネジメント専攻(ビジネススクール;QBS)科目」(以下、QBS科目)、⑤「その他の科目」の5種類の科目からなります。
- ①「総合科目」、②「高年次教養科目」、③「大学院共通教育科目」は各学部、各大学院において 単位認定の適用を受けています。なお卒業または修了の要件としてカウントできるかは、各学部、 各大学院により取扱いが異なります。
- ④「QBS 科目」については、QBS の承認によって大学院に所属する学生だけしか履修することが出来ません。単位認定に関しても、各学部、各大学院の所定の定め、手続きに拠ります。
- ⑤「その他の科目」は、「総合科目」、「高年次教養科目」、「大学院共通教育科目」、「QBS 科目」 以外の科目の総称です。「その他の科目」の単位認定に関しては、科目毎に各学部、各大学院で の確認が必要となります。但し、この範疇に入る科目はそれほど多くはありません。
- QRECにおいては、学部・専攻横断的あるいは学部学生、大学院学生(特に社会人学生)が共 に科目履修をすることで多種多様な履修学生間の相互啓発による教育効果の向上を狙いとしてい ます。このため、1つのQREC科目に対して「総合科目」、「高年次教養科目」、「大学院共通教 育科目」、一部の「QBS科目」に複数の科目種類を割り当てているものもあります。
 - 【例】QREC 科目「アントレプレナーシップ・マネジメント I 」では、総合科目では「アントレプレナーシップ・マネジメント I 」、大学院共通教育科目では「アントレプレナーシップ・マネジメント I (特論)」という科目名称を与えていますが同一の科目です。
- 後述しますが、QREC 科目群のうち、指定の科目及び科目数を履修した場合、希望者に対しては QREC の「修了証明書」を発行することが可能です。
- 手続き的には、学部学生の時に「総合科目」あるいは「高年次教養科目」を履修し、大学院に進学後、同一科目を「大学院共通教育科目」(あるいは一部の「QBS科目」)を履修し、学部及び大学院における単位修得はそれぞれ可能となります。(但し、単位認定に関しては、それぞれの学部・大学院の定めに従います)。但し、QRECの「修了証明書」の要件としては、1科目としてしかカウントされないので注意が必要となります。
 - 【例】前述の例では、学部在籍時、総合科目として「アントレプレナーシップ・マネジメント I 」を履修。その後、大学院進学後に、大学院共通教育科目として「アントレプレナーシップ・マネジメント I (特論)」を履修する場合、学部、大学院でそれぞれ単位としてカウントすることは可能ではありますが、QREC の修了証明書の要件としては、2 科目が履修済であっても 1 科目としてしかカウントされないのでご注意ください。

2-2. QREC 科目の体系 (カリキュラムを参照)

QREC 科目は、次の3つの視点から設計、体系付けられています。①基礎から実践までの段階的教育プログラム、②問題意識の涵養(気付き)から統合的な能力の養成までを意識した教育プログラム、③アントレプレナーシップを網羅する4領域の科目群からなる教育プログラムの3つです。

① 基礎から実践までの段階的教育プログラム



図中、水平方向の左から右方向に

「基礎」: 座学形式で理論を中心の教育

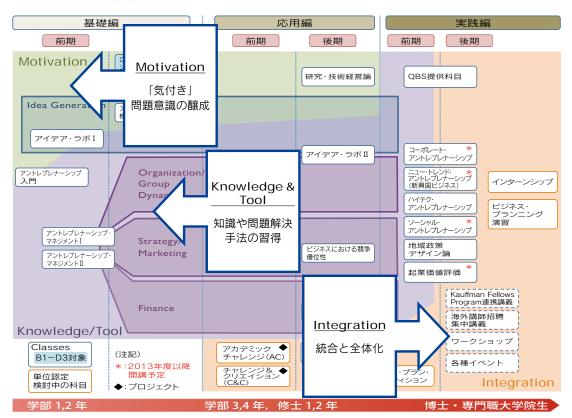
「応用」: ケーススタディー等を用い、グループディスカッション等の演習を含む教育。

「実践」: 個別あるいはチーム単位で実際のプロジェクト参加を前提とした教育。

※一般に Action Learning (A.L) または Project-based Learning (PBL) と呼ばれます。

「基礎」、「応用」、「実践」の主な対象はそれぞれ「学部1、2年生」、それを履修した「学部3、4年生及び修士」、その後の「博士課程あるいは専門職大学院生(社会人経験あり)」と年次あるいは履修段階に対応させ、設計しています。

② 問題意識の涵養(気付き)から統合的な能力までを意識した教育プログラム



図中、左上から右下の斜め方向に

「Motivation」(グリーン) :社会的な問題の発見・認知・認識な問題意識の醸成(気

付き)、あるいは創造性の伸張を目指すもの。

「Knowledge & Tool」(バイオレット):必要な基礎知識及び問題解決のために活用すること

ができる手法の習得を目指すもの。

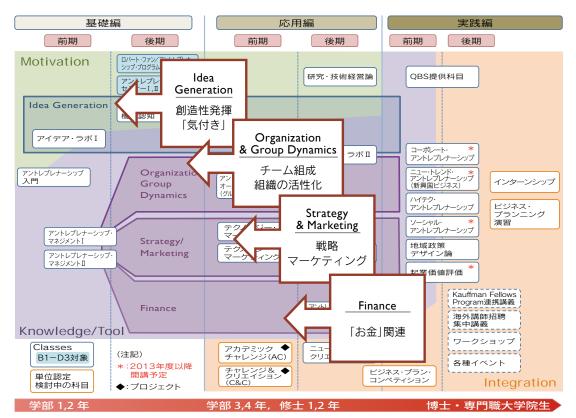
「Integration」(オレンジ) :習得した知識を統合し総合化を行い、それぞれの課

題に適した知識、ツールを活用して問題解決が図れ

る能力の習得を目指すもの。

※ Integration では、ほぼ「実践」の段階に位置しており、履修者の最終的なキャリア・デザイン、 例えば、大手企業の新製品開発を担当するエンジニア、社会的起業家、新産業創出に関わる 政策立案者などの進路に従い、それに特化した形で実践的な問題解決能力の育成を目標としています。

③ アントレプレナーシップを網羅する4領域の科目群からなる教育プログラム



図中、縦方向に4つの四角で囲まれたものです。

「Idea Generation」:常識に捕らわれずに事実に向かうことで問題に「気付き」、発散的な思

考法等を用いて創造性を発揮する類型です。

「Organization :プロジェクトを成功させるには参加メンバーの能力をチームとして発揮

Group Dynamics」 させる必要があります。特に E.T.A では1人から2人、3人へ。そこか

ら5人、10人、30人、100人と短期間で組織を拡大させ、それを運営

する必要があります。

※一般にチーム組成(Team Building)と称されます。

「Strategy / :プロジェクト成功させるには採用すべき多様な戦略を検討し、その中か

Marketing 」 ら最適な戦略を採用する必要がある。そのためには顧客や競合相手、市

場の動向を知る必要があります。

「Finance」 :プロジェクト遂行のためには資金を調達する必要があります。組織の大

きささやプロジェクトの進捗状況によって、最適な資金の集め方は異な

る。この類型では必要なお金の集め方に関して学びます。

※4類型はそれぞれ独立して学習を行うが、最終的にはすべてが相互に密接に関連しており、例えば、市場分析を十分に行わなければ、社会の問題は発見できず、また、その問題を本当に解決するには、参加者・支援者を増やし組織化する必要があります。一方、組織化するためには資金の手当てが必要ですが、どのような潜在的需要に対して、どのような戦略で対処するか資金提供者に説得できなければお金を集めることは出来ません。このように E.T.A. では上記の4類型を柔軟かつ適宜連動させて検討する必要があります。

3. 修了証明書の発行

QRECでは、一定のQREC科目を履修した場合に、学生からの発行希望があれば修了証明書(Certification)を発行します。修了証明書は①QREC修了証明書及び②QREC修了証明書(上級)の2種類を準備しています。それぞれの発行要件は下記に記しますが、修了証明書発行はQRECの履修学生の一定の目標を提示し総合的なE.T.A.の習得目標を明らかにするとともに、QRECが掲げている「育成すべき人材像」の教育効果を測る指標とし、教育効果を適時確認しプログラム全体を見直す際の尺度としています。将来的には高等教育(学位号付与)の基礎とする計画です。

加えて、修了証明書取得者を中心としたネットワークを段階的に形成していくことによって、将来の QREC を中心とする産官学あるいは地域のアントレプレナーシップに関わるエコ・システム形成の中核としていく計画です。

○ QREC 修了証明書 (Certification)

- QREC 修了証明書では、「基礎」から「応用」までを体系的に履修し、一般的な課題に対し、 E.T.A. を発揮できる能力を有していることを証明するものです。
- 右記に QREC 修了証明書の取得に必要な単位数と履修必要科目を記します。

修了証明書必要科目

(種別)	(科目数)	(必要科目数)	(対象科目)			
必修科目	2	2	アントレプレナーシップ入門	ニュービジネス・クリエーション		
			アントレプレナーシップ・マネジメントI	アントレプレナーシップ・マネジメントエ		
			アイデア・ラボΙ	アントレプレナーシップ機会認知		
選択科目		5	アイデア・ラボⅡ	QREP		
进扒竹日	14		アントレプレナーシップセミナーI	アントレプレナーシップセミナーII		
			アントレプレナーシップ・オーガニゼーション	研究·技術経営論		
			テクノロジー・マーケティングI	テクノロジー・マーケティングⅡ		
(一般科目)			Kauffman Fellows Program	海外講師招聘集中講義		
演習科目	1	1	インターンシップ			

[17]

○ QREC 修了証明書【上級】(Certification: Advanced)

- QREC 修了証明書【上級】は、QREC 修了証明書を取得済あるいは取得者と同等の能力を認めたもので、社会的起業家、大手企業での新製品開発者など、各論において E.T.A. 発揮し、チームあるいはプロジェクトのリーダーに相応しい能力を有していることを証明するものです。
- QREC 修了証明書を取得済みと同等と認めるのは、原則、3年以上の社会人経験を有し、かつ、 経営学修士号(MBA)を取得済みかあるいは年度末までに取得見込みのある者とします。
- 下記に QREC 修了証明書 【上級】の取得に必要な単位数と履修必要科目を記します。

修了証明書必要科目【上級】

_									
(種	別)	(科目数)	(必要科目数)	(対象科目)					
必修	科目	1	1	起業価値評価					
				海外講師招聘集中講義	Kauffman Fellows Program				
				テクノロジー・マーケティングI	テクノロジー・マーケティングエ				
\22. + □	111 🗆	21	0	ビジネスにおける競争優位性	アントレプレナーシップ・ファイナンス				
进扒	(10)	(10)	2	コーポレート・アントレプレナーシップ	ニュートレンド・アントレプレナーシップ				
				ハイテク・アントレプレナーシップ	ソーシャル・アントレプレナーシップ				
				地域政策デザイン論					
アフィリュ	ロート科目	(10)		【QBS科目】					
演習	科目	1	1	ビジネスプランニング演習					

[23] [4]

4. 履修モデル

- 起業家に留まらず政策立案者、研究者あるいは大企業に勤務するものであってもアントレプレナーシップを持つ人材が求められています。技術者を例にしましょう。少し以前の資料となりますが、「国際競争力強化に向けたわが国の産学官連携の推進」(日本経団連、2001年10月)によれば、新卒を含む産業技術人材に関する現状の問題点として、「大学レベルの基礎学力の不足」に次いで、2番目に「創造性欠如、問題設定能力の不足」、3番目に「積極性、問題意識の欠如」が並び、同率の5番目には、「新事業における即戦力人材の不足」と「リーダーシップのある技術マネジメント人材の不足」がランクされています¹。
- 「起業すること」だけに注目した狭義のアントレプレナーシップを採用したとしても、起業する時期は自らが決定でき、すなわち学生時代であっても、就職し退職まで勤めその後、起業を決意したとしても起業することには変わりはありません。どのようなキャリア・デザインをするか、あるいはその時々、どのようなキャリア・パスを選択するかは皆さん一人ひとりの自由な意思決定に由るものであるはずです。大切なことは、どのような職業、職位に就いたとしても E.T.A. が必要であることには変わりはありません。
- だから、QRECでは、まずは身近な「技術者になりたい」、「政策立案をしたい」。「新規事業の 企画をしたい」など、学生の皆さんの当面のキャリアの希望に即して「履修モデル」を提示し、 より皆さんが求めるものと「QREC科目」で履修した方がよい科目の関係を提示するように試 みています。
- 履修者が希望する将来的なキャリア・パスが明確であるならば、QREC 修了証明書及び同【上級】 を取得することよりも、将来展望に沿った QREC 科目を履修することの方が大切だと考えます。
- そこで、履修者が希望する将来のキャリア・パスに従って必要と予想される推奨科目、つまり、 履修モデルを参考までに次から示します。
- しかし、履修に際しては、これらの科目を履修する前提として「基礎」あるいは「応用」の科目 を履修することが望ましいことは言うまでもありません。

¹ 文部科学省「民間企業の研究活動に関する調査」でも企業研究職に採用された大卒・大学院卒社員の評価が報告されていましたが、評価指標が変わり、この項目が落ちてしまったのは残念です。

キャリア・パスのモデルと履修推奨科目

モデル名	(推奨数)	科目名			
		アントレプレナーシップ・オーガニゼーション	テクノロジー・マーケティング I		
△₩ のD0 D4U ★	(7)	テクノロジー・マーケティング Ⅱ	研究·技術経営論		
企業のR&D担当者	(7)	ビジネスにおける競争優位性	ハイテク・アントレプレナーシップ		
		起業価値評価			
		アイデア・ラボ [アイデア・ラボ Ⅱ		
		アントレプレナーシップ・オーガニゼーション	アントレプレナーシップ機会認知		
企業の新規事業担当者	(9)	ビジネスにおける競争優位性	コーポレート・アントレプレナーシップ		
		ニュートレンド・アントレプレナーシップ	起業価値評価		
		ニュービジネス・クリエーション			
	(5)	テクノロジー・マーケティング I	テクノロジー・マーケティング Ⅱ		
大学の研究者(理系)		アントレプレナーシップ・オーガニゼーション	ビジネスにおける競争優位性		
		研究·技術経営論			
		アイデア・ラボΙ	アイデア・ラボ Ⅱ		
社会起業家	(5)	アントレプレナーシップ・オーガニゼーション	アントレプレナーシップ機会認知		
		ソーシャル・アントレプレナーシップ			
		テクノロジー・マーケティング I	テクノロジー・マーケティング Ⅱ		
孙华 ·大安·李	(0)	アイデア・ラボ Ⅱ	研究·技術経営論		
政策立案者	(8)	アントレプレナーシップ・ファイナンス	ニュートレンド・アントレプレナーシップ		
		ソーシャル・アントレプレナーシップ	地域政策デザイン論		

- キャリア・パスの推奨モデルにおいて、例えば「アントレプレナーシップ・オーガニゼーション」はほとんどのモデルにおいて推奨されていますが、この科目は組織の拡大に伴って、柔軟かつ漸次、組織運営を最適化するスキルを学ぶものです。大学あるいは社会的起業(ソーシャル・アントレプレナーシップ)においても、効率的に「組織」を運営しなければならない状況は変わりません。いずれの組織においても、組織の潜在能力を最大限に引き出すことではじめて大きな成果を得ることができるのです。
- 同様に「ビジネスにおける競争優位性」に関しては、企業及び大学における3つのキャリア・パスにおいて推奨されています。「ビジネスにおける競争優位性」は、自分の有する競争優位性を、例えば特許、著作権あるいは短期の圧倒的シェア確保等の方法によってどのように確立し維持してゆくことができるのか、あるいは競合相手が現れた時にどのように対処すべきかを学ぶものです。このスキルを習得することで研究あるいは新製品開発の成果をより長期間、競合相手に対して優位な位置を保持するが可能となります。

〈2011年度講義ポスターの紹介〉



5. 科目一覧及び教室(その1)

※教室や日程等については変更になる場合もありますので、WEBシラバスにて適宜ご確認ください。

					科目名	メイン教室
段階	目的	(%)	領域	(%)		開講学期等
	Mot.	60%	I.G	50%	アントレプレナーシップ入門	伊都キャンパス
基礎	K&T Integ.	40% -	O/G.D S/M	20% 20%		(センター 2 号館2307)
坐唌	iiileg.		5/1VI F	10%	五十嵐 伸吾(QREC)	│ │前期·前半
					igarashi@qrec.kyushu-u.ac.jp	水曜日、5、6限:2コマ連続
	Mot.	30%	I.G	5%	アントレプレナーシップ・マネジメントI	箱崎キャンパス
*****	K&T	30%	O/G.D	45%		(創造パビリオン
基礎	Integ.	30%	S/M F	45% 5%		/ゼミナール室) 前期 土曜日、3-5限3コマ連続/
				5%	山田 1_一郎 (人阪市立人学人学院) yamada@bus.osaka-cu.ac.jp	日曜日、1-2限2コマ連続
	Mot.	30%	I.G	5%	アントレプレナーシップ・マネジメントⅡ	箱崎キャンパス
	K&T	30%	O/G.D	35%		(創造パビリオン
基礎	Integ.	30%	S/M	35%		/ゼミナール室)
			F	25%	玉置 浩伸(QREC)	前期
		000/	1.0	700/	tamaki@qrec.kyushu-u.ac.jp	土曜日、1、2限:2コマ連続
	Mot. K&T	80% 20%	I.G O/G.D	70% 30%	アイデア・ラボ Ι	伊都キャンパス (センター 2 号館2307)
基礎	Integ.	20%	S/M	JU /6 -		(ピンダーと 与版2307)
±			F	-		前期·後半
					igarashi@qrec.kyushu-u.ac.jp	水曜日、5、6限:2コマ連続
	Mot.	70%	I.G	70%	ロバート・ファン/	事前:箱崎キャンパス
	K&T	30%	O/G.D	30%	アントレプレナーシップ・プログラム (QREP)	現地:シリコンバレー
基礎	Integ.	-	S/M F	_		事後:福岡市内 後期
				_	台川 1版(QREC) tanigawa@astec.kyushu-u.ac.jp	1、2月事前講義、3月現地、総括講義
	Mot.	90%	I.G	70%	アントレプレナーシップ・セミナー I	伊都キャンパス
	K&T	10%	O/G.D	30%	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	(センター 1 号館1302)
基礎	Integ.	-	S/M	-		
			F	-	玉置 浩伸(QREC)	後期·前半
	N4-1	000/	10	700/	tamaki@qrec.kyushu-u.ac.jp	金曜日、5、6限:2コマ連続
	Mot. K&T	80% 20%	I.G O/G.D	70% 30%	アントレプレナーシップ・セミナーⅡ	箱崎キャンパス (21世紀交流プラザ I
基礎	Integ.	20%	S/M	30%		/多目的ホール)
			F	_	玉置 浩伸 (QREC)	後期·後半
					tamaki@qrec.kyushu-u.ac.jp	金曜日、5、6限:2コマ連続
	Mot.	60%	I.G	70%	アントレプレナーシップ機会認知	伊都キャンパス
****	K&T	40%	O/G.D	30%		(センター 1 号館1302)
基礎	Integ.	-	S/M F	_		% 扣. 並 坐
			-	_	五十嵐 伸吾 (QREC) igarashi@qrec.kyushu-u.ac.jp	後期・前半 水曜日、5、6限:2コマ連続
			L		ibaraorii@qreo.ivyaoria-a.ao.jp	小曜日、ひ、ひ以・と曰、廷宗

目的:Mot:Motivation(気づき、問題発見)、K&T:Knowledge & Tool(問題解決等のための個別の知識・ノウハウ学習) Integ:Integration(知識・ノウハウの統合・全体化)、領域:I.G:Idea Generation(アイデア創出)、O/G.D:Organization, Group Dynamics(チーム編成)、S/M:Strategy, Marketing(戦略、マーケティング)、F:Finance(ファイナンス)

【九州大学WEBシラバス】 http://syllabus.kyushu-u.ac.jp

概要	科目	単位 (数)	遠隔 有無		開講教室	備考
アントレプレナーシップの入門編。全般を 網羅的に学習する。	○ 総合科目- 高年次教養科目○ 大学院共通教育科目- QBS科目	2	有	箱崎 馬出 大熊 筑紫	センター 2 号館2307 21世紀交流プラザI 多目的ホール - 5 号館525号室 -	
戦略、組織、技術経営(MOT)など経営学の基礎を学び、ケーススタディーで応用力を鍛える。	○ 総合科目- 高年次教養科目○ 大学院共通教育科目- QBS科目	2	無	伊箱馬大筑 馬馬紫	- - - -	
実際の問題を履修者で議論した後、最適な解決方法は何かを検討する。(エントラプレナーシップ・マネジメントIと相互補完関係にある)	○ 総合科目- 高年次教養科目○ 大学院共通教育科目- QBS科目	2	無	伊箱馬大筑都崎出橋紫	- - - -	
創造力、発想力の伸張を目指す。発散的 技法等の発想を学んだ後、グループワーク を用いて、それをチームとしていかにブラッ シュアップできるかを学ぶ。	○ 総合科目- 高年次教養科目○ 大学院共通教育科目- QBS科目	2	有	箱崎 馬出	センター 2 号館2307 21世紀交流プラザI 多目的ホール - 5 号館525号室 -	
米国シリコンバレーSVの起業家、NPO、 留学生、移民、ビジネスマン、研究者と直 接対話。アントレプレナーシップの本質と 個人の生き方を理解する。	○ 総合科目- 高年次教養科目○ 大学院共通教育科目- QBS科目	2	無	伊箱馬 大筑	- - -	12月上旬に説明会実施。その後申込受付。 定員20-21名程度。レポートと面接にて選考を行う。
社会の一線で活躍するゲスト講師招聘に よるインタラクティングによる議論。低年次 からのキャリアデザイン支援。	○ 総合科目- 高年次教養科目○ 大学院共通教育科目- QBS科目	2	有	箱崎 馬出橋 筑紫	センター 1 号館1302 21世紀交流プラザI 多目的ホール - 産学連携センター 会議・セミナー室 -	旧起業家セミナーI
社会の一線で活躍するゲスト講師招聘に よるインタラクティングによる議論。学生企 画委員による講義運営。	○ 総合科目- 高年次教養科目○ 大学院共通教育科目- QBS科目	2	有	箱崎 馬大 筑紫	センター 1 号館1302 21世紀交流プラザI 多目的ホール - 産学連携センター 会議・セミナー室 総理工E棟 101講義室	旧起業家セミナーII
社会で起きているいろいろな事象(環境問題、資源の枯渇、高齢化社会、産業の成熟化)や地図、図表等を複合的に組合せ、 それを読み解く演習を行う。	○ 総合科目一 高年次教養科目○ 大学院共通教育科目- QBS科目	2	有	箱崎 馬出 大橋	センター 1 号館1302 旧工学部本館 4番講義室 - 5 号館525号室 総理工E棟 101講義室	

[※] QREC 科目名は、高年次教養科目、大学院共通教育科目において名称が異なる場合もあります。後述のシラバスにてご確認ください。

5. 科目一覧及び教室(その2)

※教室や日程等については変更になる場合もありますので、WEBシラバスにて適宜ご確認ください。

					되므스	, /> *L==
段階	目的	(%)	領域	(%)	科目名	メイン教室
					教員名 / 連絡先	開講学期等
	Mot.	80%	I.G	5%	アントレプレナーシップ・	箱崎キャンパス
	K&T	20% 0%	O/G.D S/M	75%	オーガニゼーション 	(創造パビリオン
応用	Integ.	U%	F S/IVI	10%	 黒木 正樹 (立命館大学)	/ゼミナール室) 後期
			ļ <u>!</u>		無水 正國(立即與人子) mkt07847@ba.ritsumei.ac.jp	12元 土曜日、3、4限:2コマ連続
	Mot.	50%	I.G		テクノロジー・マーケティング I	箱崎キャンパス
	K&T	50%	O/G.D	20%	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(創造パビリオン
応用	Integ.	0%	S/M	80%		/ゼミナール室)
			F		朱穎 (経済学研究院)	前期·隔週
					shu@en.kyushu-u.ac.jp	土曜日、3、4限:2コマ連続
	Mot.	0%	I.G	15%	テクノロジー・マーケティングⅡ	箱崎キャンパス
÷==	K&T	70%	O/G.D	15%		(創造パビリオン
応用	Integ.	30%	S/M F	70% 10%	L 玉置 浩伸 (QREC)	/ゼミナール室) 後期
			'	10/0	本画 /声呼 (QheO) tamaki@qrec.kyushu-u.ac.jp	18 ⁵⁰ 土曜日、1 - 5 限:5コマ連続
	Mot.	50%	I.G	50%	研究・技術経営論	箱崎キャンパス
	K&T	50%	O/G.D	30%	:競争力ある研究者、技術者、リーダーになるために	(旧工学部本館
応用	Integ.	_	S/M	20%		/4番講義室)
			F	-	谷川 徹 (QREC)	後期
					tanigawa@astec.kyushu-u.ac.jp	金曜日、4、5限:2コマ連続
	Mot.	40%	I.G	70%	アイデア・ラボⅡ	伊都キャンパス
ウ田	K&T	30% 30%	O/G.D	30%		(センター 1 号館1302)
応用	Integ.	30%	S/M F	_	 五十嵐 伸吾 (QREC)	 後期(後半)
			'		igarashi@qrec.kyushu-u.ac.jp	水曜日、5、6限:2コマ連続
	Mot.	0%	I.G	5%	アントレプレナーシップ・ファイナンス	箱崎キャンパス
	K&T	90%	O/G.D	5%		※例外はWEBシラバスを確認すること。
応用	Integ.	10%	S/M	10%		
			F	80%	東出 浩教 (早稲田大学ビジネススクール)	後期
		00/	10	4.50/	hiro@waseda.jp	※WEBシラバスを確認すること。
	Mot. K&T	0% 60%	I.G O/G.D	15% 15%	ビジネスにおける競争優位性	箱崎キャンパス ※教室はWEBシラバスを確認すること。
応用	Integ.	40%	S/M	60%		☆
#C/13	ii ii.cg.	7 0 /0	F	10%	 高田	↓ │ 後期·隔週
				. 5 70	mtakata@en.kyushu-u.ac.jp	人曜日 18:50~22:00
	Mot.	0%	I.G	15%	地域政策デザイン論	博多駅サテライトキャンパス、
	K&T	20%	O/G.D	15%		西新プラザ
実践	Integ.	80%	S/M	60%		※例外はWEBシラバスを確認すること。
			F	10%	谷口 博文、堀尾 容康 (産学連携センター)	通期 14.00 10.20
	Mot	200/	10	25%	hiro-taniguchi@astec.kyushu-u.ac.jp	土曜日、14:00~18:30
	Mot. K&T	20% 30%	I.G O/G.D	25% 35%	-ユーロンネス・ソリエーション 	箱崎キャンパス (創造パビリオン
実践	Integ.	50%	S/M	40%		(創造バビリオン
JC#X		55 70	F			後期
			'	. 3 . 0	igarashi@qrec.kyushu-u.ac.jp	土曜日1、2限:2コマ連続
	Mot.	-	IG	25%	ハイテク・アントレプレナーシップ	箱崎キャンパス
	K&T	40%	O/G.D	30%		(創造パビリオン
実践	Integ.	60%	S/M	40%		/ゼミナール室)
			F	5%	五十嵐 伸吾 (QREC)	前期
					igarashi@qrec.kyushu-u.ac.jp	金曜日 18:50~22:00

目的:Mot:Motivation(気づき、問題発見)、K&T:Knowledge & Tool(問題解決等のための個別の知識・ノウハウ学習) Integ:Integration(知識・ノウハウの統合・全体化)、領域:I.G:Idea Generation(アイデア創出)、O/G.D:Organization, Group Dynamics(チーム編成)、S/M:Strategy, Marketing(戦略、マーケティング)、F:Finance(ファイナンス)

【九州大学WEBシラバス】 http://syllabus.kyushu-u.ac.jp

概要	科目	単位 (数)	遠隔 有無		開講教室	備考
管理の幅、階層性、水平分業など「組織」 の基礎概念を事例を交えて学習し、いかに 段階的に組織を立ち上げていくかを習得 する。	○ 総合科目- 高年次教養科目○ 大学院共通教育科目- QBS科目	2	無	伊箱馬大筑都崎出橋紫		
MOT (Management of Technology)の 観点から市場創造の基礎知識を学ぶ。	○ 総合科目- 高年次教養科目○ 大学院共通教育科目- QBS科目	2	無	伊箱馬大筑都崎出橋紫	- - - -	
上述Iに引き続き、マネジメントゲームを用いて「新製品」開発を疑似体験し、そこから市場と製品開発のギャップを考えさせる。	○ 総合科目- 高年次教養科目○ 大学院共通教育科目- QBS科目	2	無	伊箱馬大筑都崎出橋紫	- - - -	
産官学各界の講師を招聘し、MOTの基礎を学ぶ。方法論にとどまらず、研究や技術の社会的位置づけ、研究者、技術者のありかたを再考させる。	- 総合科目 ○ 高年次教養科目 ○ 大学院共通教育科目 - QBS科目	2	有	箱崎 馬出 大橋	センター1号館 1308教室 旧工学部本館 4番講義室 - 5号館525号室 総理工E棟 101講義室	
具体的なテーマ(貧困撲滅、地球環境保全、耕作放棄地低減、不法駐輪撲滅等) を解決策をグループワークにより議論する。	○ 総合科目- 高年次教養科目○ 大学院共通教育科目- QBS科目	2	有	箱崎 馬出 大橋	センター1号館 1302教室 旧工学部本館 4番講義室 - 5号館525号室 総理工E棟 101講義室	
投資なのか借入なのか、そのための事業 価値評価の手法等の学びお金の調達方 法の習得を目指す。	- 総合科目 ○ 高年次教養科目 ○ 大学院共通教育科目 - QBS科目	2	無	伊箱馬大筑都崎出橋紫	- ※教室はWEBシラバスを確認すること。 - - -	
知的財産権、先行者利得等を駆使してい かに競争優位性を確保していくかを学ぶ。	- 総合科目 ○ 高年次教養科目 ○ 大学院共通教育科目 ○ QBS科目	2	有		センター 1 号館 1302教室 ※教室はWEBシラバスを確認すること。 - - -	
アントレプレナーシップの観点より、いかに 政策を立案すべきかを学ぶ。	- 総合科目 - 高年次教養科目 ○ 大学院共通教育科目 - QBS科目	4	無	伊箱馬大筑都崎出橋紫	- - - -	・社会人受講生をまじえた講義形式・博多駅サテライトキャンパスを原則とするが、例外はシラバスシステムで確認すること。
基礎科目で学んだ知識、ノウハウを統合させ実際のビジネスシードから、事業立ち上げのためのシナリオ(戦略)立案、経営資源の獲得の演習を行う。	○ 総合科目- 高年次教養科目○ 大学院共通教育科目- QBS科目	2	無	伊箱馬大筑都崎出橋紫	- - - -	
技術ベースのビジネスの立ち上げの演習を行う。授業はケーススタディー、実際の技術シードを使用し、グループワークによって知財の確保、コンピテンシーの確立、そのための提携を含めた事業戦略の立案を行う。	○ 総合科目- 高年次教養科目○ 大学院共通教育科目○ QBS科目	2	無	伊箱馬大筑 出橋紫	- - - -	

[※] QREC 科目名は、高年次教養科目、大学院共通教育科目において名称が異なる場合もあります。後述のシラバスにてご確認ください。

IV. QREC 科目の履修方法

QREC 科目は、「総合科目」、「高年次教養科目」、「大学院共通教育科目」、「QBS 提供科目」として提供されます。よって、その科目毎で履修登録の方法が異なります。また、所属の学部・学府によっても異なる場合もありますので、不明な場合は所属学部学生係あるいは QREC 事務室に確認してください。

6-1. 「総合科目」、「高年次教養科目」~ 学部生

- 履修方法は、他の「総合科目」、「高年次教養科目」とは異なります。
- QREC 科目の「総合科目」、「高年次教養科目」は、所定の履修登録の書式を全学教育課全学教育教務係に提出してください。

(但し、所属学生係から全学教育課全学教育教務係に転送されるので、所属学部学生係に提出することも可能です。)

- 履修登録の書式、登録の期間、登録期間終了後の履修希望等、履修登録に関する詳細は**別途、掲示されるので、全学教育課全学教育教務係または所属学部学生係で確認**してください。
- 単位修得を希望せず、講義の聴講を希望する場合は、各教科の担当教員にその旨をその都度申し出て ください。

【履修登録提出先】

- ・全学教育課全学教育教務係 (伊都地区センターゾーン1号館2階)
- ·所属学部学生係

6-2. 「大学院共通教育科目」 ~ 大学院生

- 「大学院共通教育科目」の履修登録は、他の「大学院共通教育科目」の登録方法と同じく、各学生が直接ウェブから履修登録を行う必要があります。履修登録期間内に登録を行って下さい。
- 単位修得を希望せず、講義の聴講を希望する場合は、各教科の担当教員にその旨をその都度申し出て ください。

【大学院共通教育科目の履修登録方法】

次のいずれかの方法で登録してください。

①履修登録期間中に学務情報システム(学生用 Web システム)により登録してください。

http://www.kyushu-u.ac.jp/student/education/rishu.php

②履修登録期間外の集中講義の場合は、次のサイトから登録してください。 http://rche.kyushu-u.ac.jp/~in-kyotsu/register2.html

V. QBS 提供科目の履修方法

経済学府産業マネジメント専攻(ビジネス・スクール:QBS)が提供する「QBS提供科目」は、QREC科目を履修している専門職大学院、大学院生のみ履修可能です(学部生は不可)。科目によっては、履修の人数制限がある場合もあります。QBSの方以外で履修希望の方は、早めにQREC事務室まで届け出を行って下さい。

○経済学府産業マネジメント専攻 (QBS) の学生

- QBS の学生は、通常の QBS 科目と履修方法は同じです。ウェブより履修登録を行って下さい。
- QBS の学生に関しては、履修人数の制限の適用を受けません。

○経済学府産業マネジメント専攻 (QBS) 以外の大学院生、専門職大学院生)

- 原則として QREC 科目を履修している(したことがある)大学院生、専門職大学院生のみ受講できます。
- 人数制限等がある場合がありますので、QREC事務室まで届け出を行って下さい。推薦状を発行しま すので、履修登録締め切りに間に合うように、早めに届け出を行って下さい。
- QBS 提供科目は、単位取得希望者以外の聴講はできません。

【 履修登録手順 】

① 履修希望者は、まず指導教員へ他専攻科目履修に関する相談を行ってください。



- ② 許可が得られたら QREC 事務室に「QBS 提供科目」の履修希望の連絡を行って下さい。
- QREC 事務室:メール support@qrec.kyushu-u.ac.jp /電話 092-642-4014 (平日 10 時~ 17 時) 「①履修希望科目名、②所属学府、③学年、④氏名、⑤学籍番号、⑦履修している(したことのある) QREC 科目名」を明記してください。
- ③ 各「QBS 提供科目」毎に、QREC が制限数の学生を選定し、該当の学生に「推薦状」を発行します。
- ➡ 発行できましたら連絡しますので、QREC事務室へ直接受け取りにお越しください。
- ④ 推薦状を受け取ったら、各「QBS 提供科目」の担当教員へ聴講届を、所属の学生係に「他専攻履修届」を、それぞれ QREC の「推薦状」を添えて届け出てください。

【お問合せ】

QREC 事務室(箱崎地区理系ゾーン:産学連携棟 I 3 階): 平日 10:00 ~ 17:00

電話: 092-642-4014 メール: support@grec.kyushu-u.ac.jp

ホームページ: http://www.grec.kyushu-u.ac.jp

VI. 履修生の声

QREC 科目を受講していかがでしたか?

自らの専門分野の研究意義や技術をどのように活かすかを学ぶことができた

芸術工学部 工業設計学科3年 荻本 涼介



私が履修した科目は「研究・技術経営論」です。履修の動機は、自らの学部の専門性を認識した高年次の段階で、社会におけるより実践的な講義を聴くことでその専門性を俯瞰的にみる機会を得たいと思ったからです。その内容は、企業の技術力をビジネスモデルの中で経営にどう活かすかということを様々な立場の方から色々な視点でお話しいただくものでした。実際に、本講義では学部また、学生と社会人という垣根を越えてディスカッションを行う機会が多く設けられており、普段触れることのない考えや価値観に触れる貴重な経験となりました。

私は芸術工学部でデザインと工学の両方を専攻しているので、モノづくりにおいて今ある技術をデザインで最終製品にどう反映させていくかという部分に興味があります。講義やディスカッションを通して、技術が社会的に価値を形成していくためにモノづくりの過程でのデザインの重要性ということも再認識することができ、改めて専攻分野の研究への意欲が湧きました。このように本講義では、技術者として将来的に経営に参画したいと考えている理系の学生の方に限らず、現在行っている研究内容をより深くしていくにあたってその意義について問いたい、またそれをどう活かしていくかについて明確なビジョンを持ちたい、と考えている方にとってもたいへん有益な講義であると思います。

今後のキャリアビジョンが明確になった

QBS 松川 賢



"アントレプレナーシップ=起業家精神"と短絡的に思っていませんか?何を隠そう私がそうでした。QRECは社会人学生でも受講可能な時間割になっており、今後のキャリアビジョンに対して明確な答えを見つけたい社会人学生にもお薦めです。受講して"アントレプレナーシップ"に対する自分なりの答えを見つけて下さい。



青春は何もかもが実験である。 by スティーブンスン

自分の考え方や行動次第ですべてが変わる

21世紀プログラム課程3年 米倉 美希

「まず、やってみる!」この重要性を学び、体験できるのが、QRECのプログラムです。私はQRECの講義を受講することで、多角的な視点から考え、物事を肯定的に捉える大切さや機会を発見する楽しさを学びました。そして、アントレプレナーシップ・セミナーの企画委員や起業体験プログラムへの参加を通して、授業で得た学びを現実の世界で実践することができています。自分の考え方や行動次第ですべてが変わるという経験は、私の選択肢を増やし、柔軟性を高めてくれました。このプログラムで得た学びを、自分の人生を切り拓く大きな糧にしていきたいです。



・アントレプレナーシップ入門 ・アイデア・ラボ I

研究とビジネスの両立への新たな発見

数理学府MMA2年 松尾 典和

私は、今回「研究技術経営論」「アイデアラボI」「テクノロジーマーケティングI」などを中心に履修しました。院生ということもあり個人の研究とQRECの講義の時間の使い分けが難しい部分がありましたが、研究を進めていく上で、かつこれからビジネスをしていく上で必ずプラスになると考え受講しました。その結果QRECの講義は、魅力的なものが多かったと思います。各界の専門家が講義の先生として登場し、研究とビジネス両方を成り立たせていくための講義や、図表データからより自由な発想の出し方を習得していく講義は、専門課程ではなかなか学べないものです。また、私自身のキャリアパスを考えていく上でも良い機会になったことや、それぞれの学部出身の方々やQBSの社会人の方が受講生として集まっているので、そのディスカッションの中で、自分が思ってもいなかったような面白い意見・発想が出てくることも多いのも魅力です。QRECの講義の中で提示される課題は、多くは学生の判断に委ねられますが、結構能動的にやっていかなければ、ほとんど何も身に付かないと思います。

そんな中、自分の研究と、このQRECの講義で多くの新たな発見・発想を得ることができたこの期間は、とても有意義でした。これから社会人へとなるにあたって、QRECで学んだことを意識しつつ、仕事に臨めればと思うのと同時に、スタートしたばかりのQRECの講義が受講生の皆さんとともにより充実していくのを願っています。



履修した 科目 ◆

- ・研究・技術経営論
- ・アイデア・ラボⅡ
- ・テクノロジー・ マーケティング I







他学部や社会人とのディスカッションで視野が広がった

理学部生物学科3年 堀田 拓

私は、偶然掲示版を見て研究・技術経営論という授業があるということを知りました。 将来的に研究職に就いて働きたいと考えており、名前から研究と経営がどのように関連するのかという、企業・大学どちらに就職しても必要となるであろうことを学べると思い、学部の授業の単位もすべてとり終え、研究室に行くまでの空いた時間に受けてみようと思い受けてみました。

この講義を履修しはじめたころは経済などに一切興味もなく、ただ研究者として食っていくためにはどうしたらいいのだろう、そういうことを学べるのだろうと考えていました。しかし、自分が本当にこの講義に期待していた、研究者としてのありようについてだけではなく、だんだんと経済やその他もろもろが、研究をしていくうえでどのようにかかわってくるのかなども学べ、自分が興味を持っていなかった分野、触れたことのなかった多くの分野にも興味がわき、自分の視野が格段に広がりました。また、他学部や社会人など普段かかわらない人たちとディスカッションすることなどにより、多くの視点からの考え方を得ることができました。そして、自分の意見が他人にどう捉えられるかなどを知るこができ大変良い経験となった授業でした。



現場の話を聞くことで自分の将来や新しい視点を見つけました

農学部3年 梅村 早紀

内容が毎回面白そうだと感じたため研究・技術経営論を受講しました。

研究や技術が社会で活かされる時の研究以外の部分に関して、毎回大変豪華なゲストの講師の方のお話を聴いていました。今どのような流れの中で研究があり、日本の産業が生き残っていくために何を考えていくべきかという大筋の話を現場の方から聴けたことで自分の将来やニュース、勉強への新しい視点を持つことができ非常に刺激を受けました。工学、IT系の分野の話が多いですが様々な分野の人に聴いてほしいという雰囲気があり、内容も充実しており、他学部の学生にも十分興味深く有意義な授業でした。毎回の講義で貴重なお話が聴けるので、興味があれば是非受講してみてください。





履修した 科目

- ·研究·技術経営論
- ・アイデア・ラボⅡ
- アントレプレナーシップ機会発見

九大でしかできないことがQRECにあります

芸術工学部工業設計学科 1 年 森田 健太郎

「九大でしかできないこと」QRECの魅力の1つです。1年生から大学院生までが学部を超えて集まり、ケース課題や社会で活躍されている方のお話などの創造的な授業を受けることができます。また、無理なく講義プログラムを進められる事も魅力です。QRECの授業での知識やアイデア発想、1分間スピーチの練習は他の授業でも役立っています。



- ・アントレプレナーシップ入門
- ・アイデア・ラボ I
- ・アントレプレナーシップ・ マネジメント I
- ・アントレプレナーシップ・ マネジメントⅡ
- ・アントレプレナーシップ機会 発見
- **・アイデア・ラボ**Ⅱ



VII. QREC 学生プロジェクト

(チャレンジ&クリエイション、アカデミックチャレンジ)

※QRECで毎年主催している学生プロジェクトです。

九州大学に在籍する学生の皆様に応募のチャンスがあります。 公募等については QREC ホームページでお知らせします。

http://www.grec.kyushu-u.ac.jp

C&C (チャレンジ&クリエイション) は、「キャンパスから創造と挑

戦の風を起こそう」を掲げ、九州大学に在籍する院生や学生が自ら企画するユニークな研究・調査プロジェクトをサポートする全学事業で、1997年にスタートしました。これまでの参加学生は延べ600人を数えます。採択したプロジェクトの中には行政や地域のコミュニティに活動が広がっていくものも少なくなく、九州大学の独自性を示す象徴的なプロ

自分自身の独創的でイノベイティブ(革新的)な発想を自ら開発・展開・

実践することで「九大生」であることを問いかけてみませんか?

チャレンジ&クリエイション (C&C)

キャンパスから創造と挑戦の風を起こそう



■ 公募スケジュール ■

スケジュールについては、あくまでも予定であり今後変更になる

5月~6月:公募締め切り、審査、採択者決定、

事務手続き説明会

翌3月:成果報告書提出、成果報告会

3月~4月:公募開始

可能性があります

, < 2011 年度 C&C 採択プロジェクト >

【自由テーマプロジェクト/事業構想プロジェクト】

・地域を舞台とした映画による振興事業モデルの提案・検証

・グライダープロジェクト

ジェクトに成長しました。

・第2回糸島市地域活性化プランコンテスト

- ・国際ゲーム開発イベント Global Game Jam Fukuoka 2012 の開催と運営
- UNDERWATER SOUND PROJECT
- ・都市と大学の連携による糸島地域のサステナブル・ハビタット構築に関する実証的研究
- ・ハイスピード録画機能を有した瞳孔計測システムの開発-瞬きや瞳孔反応を利用した個人認証への応用-
- ・バングラデシュの貧困層と学生によるコラボレーションブランドの設立

【課題テーマプロジェクト】

- ・アントレプレナーシップセミナー 2011 企画・運営プロジェクト
- ・「九大祭」起業体験プログラム(略称 Q-Shop)」企画・運営プロジェクト

アカデミックチャレンジ(AC)

チャンスを活かせ!!チャレンジは新しい夢への第一歩!!



AC (アカデミックチャレンジ) は、九州大学に在籍する院生を対象にした研究助成です。学生自らが研究計画を企画し、必要な資金を手当てし、実際の研究を行う、この一連の実践を通じて「研究マネジメント」を習得することを狙いとしています。将来のイノベーションに繋がる萌芽的な研究を促進するために学生が自らの発想で学術研究に向き合い、独創性、柔軟性を発揮できる機会を提供します。



■ 公募スケジュール ■

3月~4月:公募開始

5月~6月:公募締め切り、審査、採択者決定、

事務手続き説明会

10月:中間発表会

翌3月:成果報告書提出、成果報告会

※スケジュールについては、あくまでも予定であり今後変更になる 可能性があります。

< 2011 年度 AC 採択プロジェクト >

- ・末期拡張型心筋症モデルマウスへのピモベンダン投与による治療効果の検討
- ・両眼視野闘争を用いたサブリミナルなヒトの顔認知システムの研究
- ・ヒト ES/iPS 細胞からの hemangioblast を介した新規造血幹細胞分化誘導法の確立
- ・消防服着用時の L-Menthol の塗布による温熱ストレスの軽減
- ・地熱発電所の開発促進にむけた複合システムの開発:地熱水からの Li 資源の回収およびシリカスケールの防止
- Modification of biogenic manganese oxide and its application for rare metals recovery.
- ・LSI 技術と整合するスピントンネル磁気抵抗阻止の創製
- ・超高移動度歪 Ge チャネルトランジスタ実現に向けた基盤技術の開発
- ・RNA 中 8- オキソグアノシン発生部位を特定できる特異的蛍光プローブの開発

チャレンジ&クリエイション(C&C):課題テーマ

「九大祭」起業体験プログラム(略称 Q-Shop)」企画・運営プロジェクト

■学祭で起業しよう!

九大祭起業体験プログラム (Q-Shop) は、「九大祭」での模擬店出店を起業機会とし、将来のベンチャー候補生である学生の皆さんが「起業家」になり、会社組織を設立。事業計画を作成し、「投資家」へ発表し出資を受けて、「九大祭」での販売活動をし、発生した利益や損失を集計、株主へ報告という一連の起業プロセスを体験し、リアルな会社経営を経験してもらうプロジェクトです。本年度(2011 年)が初めての試みとなりました。

個々の学生が「自分で考え、行動する力」を伸ばしていくことを目的としたプロジェクトで、模擬店を出して販売活動を行うだけではなく、本物のベンチャーキャピタリストや公認会計士、司法書士、銀行員などによるサポートをうけ、「ビジネスプランの作成」、「株券による資本調達」、「販売活動」、「株主総会」、「利益配当」といった一連の流れを、実際に現金を使って体験し、起業(会社設立)の流れを実体験して頂きます。また、参加企業は、EPS(Earning Per Share:一株当たり利益)を最大化することを目標として活動し、最終的に順位も決定します。









■全体の流れ:2011 年度実施状況

10月22日(土) オリエンテーション・全体講義

10月22日(土) ~ 29日(土) 各チームに別れ、ビジネスプラン作成

どんな事業を行いたいか、売上げ目標は? ターゲットは?売り方は?等を考えて、

事業計画書を作成。

10月29日(土) ビジネスプラン発表会

スポンサー候補(ベンチャーキャピタリ ストと呼ぶ)との交渉の末、ビジネスプ

ランと投資比率が決定。

10月29日(土)~11月18日(金) 各種手続き・事前準備。

会社を設立し、販売活動の準備。

11月19日(土)、20日(日) 九大祭

ルス宗 販売活動。起業家にとっては、準備して

きた事を出す場所。

11月19日(土)~21日(月) 会計処理

決算前の会計監査用に各チームで決算書

類作成。

11月22日(火) 株主総会

決算を行い、株主に経営報告。利益配当

を行い、会社を解散。

本年度は、7チームが参加。以下の店舗を出店しました。

会社名:伊都屋~ iTOP を添えて~ 事業内容:はしまきの製造と販売

会社名:株式会社グローバルサービス久原事業内容:オリジナルなサーターアンダギー

会社名:QREC プレイングマネージャー 事業内容:鶏肉の加工・販売(若鶏の香草焼)

会社名:株式会社 E-seven 事業内容:唐揚げ屋さん 会社名:株式会社「グローバルやたいったい!!」JLCC 事業内容:おでん販売

会社名:QBS 9th KCJStore 事業内容:韓国屋台料理ホットクの販売、中国韓国のアクセサリ販売

会社名:株式会社 そらまめ 事業内容:飲み物と出会いの場の提供



WI. QREC科目 シラバス一覧

※最新シラバスは、九州大学 WEB シラバスを確認して下さい。

科 目 名						
		全学共通科目	アントレプレナーシップ入門			
アントレプレフ	ナーシップ入門	高年次共通科目				
		大学院共通科目	アントレプレナーシップ入門(特論)			
(単位数)	2 単位	QBS科目				
授業方式	2コマ連続講義。座学、DVD 講義においてはグループワ-		招聘を組合せ、起業家精神の概念を学習する。 ショップを行う。			
開講学期及び開講地区等	<開講学期>前期前半(水 く開講日程>4/11、4/18、4 く開講地区>伊都キャンパ (遠隔)箱崎キャンパス:21世	/25、5/2、5/9、5/16 ス:センター2号館23	、5/23、5/30(5限のみ)			
キーワード	アントレプレナーシップ、気付	tė.				
履修条件	なし					
授業の目的	アントレプレナーシップの基础	礎を全般的に学ぶ				
到達目標	「アントレプレナーシップ」とは何かを考え、「アントレプレナーシップ」をもって行動することとはどのようなことかを学ぶ。					
授業計画	講義はQRECの五十嵐伸吾及び高田仁、2名で担当する。 五十嵐伸吾:4/11、4/25、5/9、5/30(5限のみ) 高田仁:4/18、5/2、5/16、5/23 アントレプレナーシップの基礎概念として下記の項目について学ぶ。 1. なぜアントレプレナーシップの定義 2. アントレプレナーシップの必要性 3. アントレプレナーシップとキャリアデザイン 4. アントレプレナーシップのプロセス 5. 起業価値の発見・創造 6. アイデア創出 7. アントレプレナーシップの実際 8. チーム立ち上げ					
成績評価の方法	出席を重視する。出席40%。講義評価60%(うち五十嵐30%、高田30%)					
教科書·参考書	「20歳のときに知っておきた;	かったこと」(ティナ・	シーリグ、阪急コミュニケーションズ)			
担当教官(所属)	五十嵐 伸吾(ロバート・ファン/ア TEL: 092-642-4		−) Mailto:igarashi@qrec.kyushu-u.ac.jp			
学習相談	授業前後に行う。その他の場					

科 目 名						
			全学共通科目	アントレプレナーシップ・マネジメント I		
アントレプレナーシ	アントレプレナーシップ・マネジメント I		高年次共通科目			
			大学院共通科目	アントレプレナーシップ・マネジメント I (特論)		
(単位数)	2	単位	QBS科目			
授業方式	の予習を踏まえ	、授業中は		バに基づく討議を行う。グループワーク、ケース分析などを深めていく。基本的な進行方式は、少人数グループと 付話である。		
開講学期及び開講地区等	<開講日程>4/2	21, 4/22, 5/	3~5限目:3コマ連絡 /12、5/13、5/26、5/ ス:創造パビリオン			
キーワード	アントレプレナー	ンップ、マー	ケティング、商品開	発、イノベーション、組織、戦略		
履修条件	なし(ただし、素敵な志を抱いて学問を学ぼう、生きていこうという人びとを強く求めます)					
授業の目的	アントレプレナーシップの視点から、マーケティング・製品開発・組織論・戦略論を学ぶ。何者でもないところから、新たな社会的価値を創造する、という人間的ならびに社会的変化の過程について、経営学的な「見晴らし」を得ることを目的としている。					
到達目標	アントレプレナーの目線から、基本的な経営学の概念を習得すること。					
	本講義は毎回、基本概念の提示からスタートし(1コマ)、ケース討議(1-2コマ)を用い、グループと暮らす全体の対話を繰り返しながら進める。全く経営学を知らないというところから、アントレプレナーシップ、新しい社会的価値の活動を主体的に取り組むことがどういう現象なのかを理解していく。(1)経営学的キーワード(たとえば意思決定)の解説、(2)ケースと呼ばれる「短編小説」のような資料を読み、グループで議論して、(3)対話内容を振り返りながら、そこから何が気づけるかを経営学の概念的に討議しながら学ぶ、というふうに3つのセッションから構成されている。					
授業計画	 事業をつくるとは何だろうか? 経営学入門(意思決定・動機づけ)とアントレプレナーシップ、ケース討議 地域で若者が仕掛けるITベンチャー:ドコイコ社のケース 会社を大きくするってどんなことか? 事業機会:アントレプレナーシップとマーケティング、ケース討議 ペット保険業の創生というイノベーション:アニコム社のケース ×ゲスト・経営者生出演! アントレプレナーの成功とは何か? 企業とステークホルダー:アントレプレナーシップと経営戦略、ケース討議 地域スポーツリーグの創造:株式会社IBLJ社のケース ×ゲスト・経営者生出演! 					
成績評価の方法	積極的な質疑・議論への参加を重視し、レポート等も用い、学習の進捗状況等を総合的に評価する。					
教科書·参考書	参考テキスト『アントレプレナーシップ』(ウィリアム・バイグレイブ+アンドリュー・ザカラキス、日経BP社) 参加者には追ってケース資料等を配付いたします。					
担当教官(所属)	山田仁一郎(大阪					
	TEL:	092-642-40	014(QREC事務室)	Mailto:yamada@bus.osaka-cu.ac.jp		
学習相談		授業前後に	こ行う。その他の場	合は事前にメールにて日時を調整する。		

		科目名			
		全学共通科目	アントレプレナーシップ・マネジメントⅡ		
アントレプレナーシ	ップ・マネジメント	Ⅱ 高年次共通科目			
		大学院共通科目	アントレプレナーシップ・マネジメント Ⅱ (特論)		
(単位数)	2 単位	QBS科目			
授業方式	には前の回の座学で学習した 選定する予定。会計に関しては	科目に関するケースをスタ はケースに替えてクイズを出	である会計・財務・マーケティング・販売・組織・倫理を学習する。1コマ目 ディ・クエスチョンに従い討議する。ケースは基本的にペンチャーのものを 題する。ケースは講義開始までに精読、分析が終了していることを前提と 表してもらうこともある。一部若しくは全部に英文のケースを使用する。		
開講学期及び開講地区等	<開講学期>前期(土曜 <開講日>4/14、4/21、 <開講地区>箱崎キャン	4/28、5/19、6/16、6/3	0、7/14、7/21		
キーワード	アントレプレナーシップ、	ケーススタディ、経営会	≧般		
履修条件	なし				
授業の目的	応用編、実践編への橋渡しとして、特にベンチャーに限らない、経営学全般を座学で学習する。学習した理論がベンチャーにおいてどのように応用されるのかをケースを通じて学ぶ。また、英文の教材を使用することにより、ビジネス英語に慣れることも目的の一つである。				
到達目標	経営において使用される用語、概念を十分理解し、会社の仕組み全般を学ぶ。会計・財務では財務諸表から、会社の経営状態を判断できる能力の習得に重点を置く。				
授業計画	1 講師紹介、学生自己紹介(数が多い場合は簡単なアンケート)、講義説明 2 会計の基礎(座学: 仕訳、損益、資産) 3 会計の基礎(座学: 負債、資本) 4 会計の基礎(座学: 財務三表、会計原則) 5 会計クイズ 6 財務の基礎(座学: 財務分析、ファイナンスの基礎) 7 財務のケース 8 マーケティングの基礎(座学: 広告戦略、ブランディング、4P/4C、Push/Pull戦略、マーケットリサーチなど) 9 マーケティングのケース 10 販売の基礎(座学: セールスリード、クロージング、債権回収・売掛管理、顧客価値、損益分岐、直間比率など) 11 販売のケース 12 組織(座学: スタートアップ時の構成メンバー、ボード・ガバナンス、組織デザイン、インセンティブ、エージェント問題、採用・研修・解雇、権限規定と委譲、リーダーシップなど) 13 組織のケース(英文) 14 倫理(座学: 粉飾の事例、経営者のジレンマ、過去の有名起業家の顛末) 15 13回目と同じケース 16 経験談、キャリア・ブラン、お金の話				
成績評価の方法	会計クイズ20%、出席40%、ケース討議への貢献40%				
教科書·参考書	映画「ソーシャル・ネットワーク」(2010)。カバーする領域が広いので必要に応じWeb若しくは書籍で情報を見つけること。				
担当教官(所属)	玉置浩伸(ロバート・ファ: TEL:092-64		/ップ・センター) Mailto: tamaki@qrec.kyushu-u.ac.jp		
学習相談			パイントメントなしでも構わない。		

			科目名			
			全学共通科目	アイデア・ラボ Ι		
アイデア・ラボ I			高年次共通科目			
			大学院共通科目	アイデア・ラボ I (特論)		
(単位数)	2	単位	QBS科目			
授業方式				に対する観察力を高め、グループ演習を通じて、発散・収束・選 歳の2回程度は外部講師を招聘し、より現実的な課題に取り組む		
開講学期及び開講地区等	<開講日程>5/ <開講地区>伊	/30(6限のみ ・都キャンパス	ス:センター2号館23	、6/27、7/4、7/11、7/25		
キーワード	アントレプレナー	・シップ、発想	力、創造力			
履修条件	「アントレプレナーシップ入門」あるいは「同(特論)」が原則履修済であること。					
授業の目的	アイデア創出力の養成を目指す。合わせてチーム力を極大化するスキムを習得する。					
到達目標	発散的思考法・収束的技法を習得する。特に、常識にとらわれない観察力、発想力を磨く。					
授業計画	たくさんのアイデアの中から、精査、選択の過程を経て実際に実行できるものは1つだけ。そうであれば、 最初の段階で数多くのアイデアが創出できなければ、期待する成果は得られないかも知れない。本講義 では身近な材料を用いながら、その使用法、活用法をいかに短時間で多くのアイデアを創出するかの演 習を行う。 第1回 ガイダンス/チーム編成 第2回 問題解決法:発散法と集約法 第3回目~15回:アイデア創出演習					
成績評価の方法	出席を重視する。出席40%。講義への貢献30%、最終レポート40%					
教科書·参考書	「20歳のときに知っておきたかったこと」(ティナ・シーリグ、阪急コミュニケーションズ)					
担当教官(所属)		ハ゛ート・ファン/アン .:092-642-40	・ ・トレフ゜レナーシッフ゜・センタ on 1	−) Mailto:igarashi@qrec.kyushu-u.ac.jp		
学習相談				CT日時を調整する。		

科 目 名						
			全学共通科目	ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・プログラム(QREP)		
ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・ プログラム(QREP)		高年次共通科目				
			大学院共通科目	起業家精神・米国セミナー ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・プログラム(QREP)		
(単位数)	2 単位	立	QBS科目			
授業方式	事前講義2回、米国現	地講義	:1週間、総括講義1	回午後		
開講学期及び開講地区等	後期、事前講義:1-2月	月(箱崎)、現地講義:3月上	:旬(米国シリコンバレー)、総括講義:3月下旬(福岡天神)		
キーワード	アントレプレナーシッフ	プ、多様	性、グローバル、個	人		
履修条件	特になし ただし、参加にあたっ ⁻ (http://qrec.kyushu-u			日程や提出書類等、詳細は、QRECホームページ 毎年12月に募集)		
授業の目的	起業家精神とイノベーションのメッカ、米国シリコンバレーにおいて、ベンチャー企業や外資系大企業、大学、弁護士事務所、さらにはNPO等、現地で活躍する経営者、エンジニア、研究者、あるいは学生等の考え方や生き方に親しく接する機会を提供して、起業家精神(チャレンジ精神、自立意識、個性の発揮等)やグローバル思考の重要性を認識させるとともに、自らの生き方、考え方、進路等を考えるきっかけを与える。					
到達目標	以下の効果実現を目指す ・起業家精神醸成(自立した個人・個性の確立、チャレンジ精神の涵養) ・国際的意識向上(多様性の認識) ・積極性、主体性向上 ・大学で学び研究する意味・意義の理解と学習意欲の向上 ・起業や技術マネジメントに関する知識 ・実情理解・世界トップ水準のビジネス認識					
授業計画	 ・事前講義(オリエンテーションと英語討論研修等): 2013年1、2月に2回計4コマ6時間、18:00以降実施 ・現地プログラム(招聘講師による講義と討論及び企業訪問等): 3月上旬の1週間。日曜午後~金曜まで実質5.5日間。20コマ強計約40時間。 ・総括講義(福岡市内でのセミナー受講と研修成果発表会): 3月下旬に1回2コマ3時間、午後実施。以上総計で50時間程度予定シリコンバレーでの招聘講師は延約40人 					
成績評価の方法	出席30%、授業への参加態度(積極性等)25%、レポート(最終講義終了後提出)25%、総括講義でのプレゼンテーション20%					
教科書·参考書	フラット化する世界上/下(日本経済新聞社)、ウェブ時代5つの定理(文芸春秋社)、 この国を出でよ(小学館)、世界級キャリアの作り方(東洋経済新報社)等					
担当教官(所属)	谷川 徹(産学連携センター/QREC) TEL:092-642-4360 Mailto:tanigawa@astec.kyushu-u.ac.jp					
学習相談	随時受け付ける。			"		

		科目名			
		全学共通科目	アントレプレナーシップ・セミナー I		
アントレプレナー	シップ・セミナー I	高年次共通科目			
		大学院共通科目	アントレプレナーシップ・セミナー I (特論)		
(単位数)	2 単位	QBS科目			
授業方式	2コマ連続講義。社会の一般 接的対話及び演習等を組み		召聘し、現実に即した事例に基づき招聘講師から講義、直 座を与える。		
開講学期及び開講地区等	<開講学期>後期前半(金曜: <開講日程>10/5、10/12、1 <開講地区>伊都キャンパス (遠隔)箱崎キャンパス:21世:	0/19、10/26、11/2、11/ 、: センター1号館1302	/9、11/16、11/30(6限のみ) ホール、大橋キャンパス:産学連携センター 会議・セミナー室		
キーワード	アントレプレナーシップ、キ	ャリアデザイン			
履修条件	なし				
授業の目的	アントレプレナーシップを考える前提として「働く」ことの意義や目的とは何か、いかに自らのキャリアを設計していくかをその理論、アプローチを含めて習得する。				
到達目標	キャリア・アンカーなどキャリアに関する基礎理論の習得。そのための、自分の欲求をしるためのアプロー チを学習し、学生個々が自らのキャリア形成の上での優先順位を決める。				
授業計画	第1回 2コマ連続: ガイダンス、キャリアデザインの必要性 第2回〜第8回 各回 外部講師を招聘(現状未定。確定しだい告知する) 外部講師による講義。 履修者参加による演習。 それを受けた講師によるフィードバック。 担当教員による要点整理の形で、講義を進める。				
成績評価の方法	出席を重視する。出席55%。最終レポート45%。				
教科書·参考書	「キャリアデザイン」(田路則子、月岡亮著;ファーストプレス)				
担当教官(所属)	玉置浩伸(ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター)				
学習相談	TEL:092-642 授業前後に行う。その他の		Mailto: tamaki@qrec.kyushu-u.ac.jp にて日時を調整する。		

		科目名			
		全学共通科目	アントレプレナーシップ・セミナー Ⅱ		
アントレプレナー	シップ・セミナー Ⅱ	高年次共通科目			
		大学院共通科目	アントレプレナーシップ・セミナー Ⅱ (特論)		
(単位数)	2 単位	QBS科目			
授業方式			召聘するオムニバス式の講座。現実に即した事例に基づ :組み合わせ多角的な視座を与える。		
開講学期及び開講地区等	<開講学期>後期後半(金曜日 <開講日程>11/30(6限のみ) <開講地区>箱崎キャンパス: (遠隔)伊都キャンパス:センター 大橋キャンパス:産学連携センタ	、12/7、12/14、12/21 21世紀交流プラザI -1号館1302	, 1/11, 1/17, 1/25, 2/1		
キーワード	アントレプレナーシップ、キャ	リア・デザイン、キャ	・リア・アンカー		
履修条件	「アントレプレナーシップ・セミ	ナー I 」あるいは「I	司(特論)」が原則履修済		
授業の目的	アントレプレナーシップを考える前提として、困難に直面したとき、どのようなアプローチと行動をとることで、それを解決したかを学ぶ。				
到達目標	自らの人生・キャリアの転機を認識し、代替案と自分の中での優先順位を増えたうえでの採用すべき選択 を行う。				
授業計画	第1回 : ガイダンス、キャリアデザインの必要性 第2回~第8回 2コマ連続講義 各回 外部講師を招聘(現状未定。確定しだい告知する) 外部講師による講義。 履修者参加による演習。 それを受けた講師によるフィードバック。 担当教員による要点整理の形で、講義を進める。				
成績評価の方法	未定(WEBシラバス参照のこと)				
教科書·参考書	「キャリアデザイン」(田路則子、月岡亮著;ファーストプレス)				
担当教官(所属)	玉置浩伸(ロバート・ファン/				
学習相談	TEL:092-642-4 授業前後に行う。その他の場		Mailto: tamaki@qrec.kyushu-u.ac.jp にて日時を調整する。		

		科目名				
		全学共通科目	アントレプレナーシップ機会認知			
アントレプレナー	ーシップ機会認知	高年次共通科目				
		大学院共通科目	アントレプレナーシップ機会認知(特論)			
(単位数)	2 単位	QBS科目				
授業方式			、地図などをいくつか提示し、それに時系列を組み合わせ観察 講義の2回程度は外部講師を招聘し、より現実的な課題に取り			
開講学期及び開講地区等	<開講学期>後期前半(水曜日 <開講日程>10/3、10/10、10/ <開講地区>伊都キャンパス: (遠隔)箱崎キャンパス:旧工学 大橋キャンパス:5号館	17、10/24、10/31、1 センター1号館1302 部本館 4番講義室				
キーワード	アントレプレナーシップ、機会	認識				
履修条件	なし					
授業の目的	社会、経済、技術など実社会のトレンド、ニュース等から「変化」を読み取る。					
到達目標	ニュース、データ、地図等を組み合わせ、将来の変化を予想することで、アントレプレナーシップ・プロセス の出発点としての機会認知能力を養成する。					
授業計画	起業プロセスの出発点は起業機会の発見から始まる。「発見」は、他者と同じ物を見て、違うふうに考えることによって生まれる。本講座では様々な地理、歴史、記事、データ等などのいくつかの組み合わせを提示し、そこからどのように傾向あるいは方向性があると解釈できるかの議論を行う。本講義はグループワークによる議論を中心に進める。					
成績評価の方法	出席を重視する。出席40%。講義への貢献30%、最終レポート40%。					
教科書·参考書	J.A.ティモンズ「ベンチャー創造の理論と戦略~起業機会探索から資金調達までの実践的方法論」(ダイヤモンド社)					
担当教官(所属)	五十嵐 伸吾(ロバート・ファン/アントレプ・レナーシップ・センター) TEL:092-642-4011 Mailto:igarashi@qrec.kyushu-u.ac.jp					
学習相談	1 EE.092-042-40 随時受け付ける。		manongarasin & greenky astra-a. ac. jp			

				科目名			
				全学共通科目	アントレプレナ		ション
マハレニプロ		- ° -					
アントレプレナーシップ・ オーガニゼーション			高年次共通科目				
				大学院共通科目	アントレプレナーシ	<i>ѵ</i> ップ・オーガニゼーショ	ン(特論)
(単位数)		2 単位		QBS科目			
授業方式	参加する	こと。またケ・	ース教		ド大学ビジネススクー	i)を予め読で授業に出 −ルのケースを使用し <i>†</i>	
開講学期及び開講地区等	<開講日	>10/6, 10/2	20、11/	、4限目:2コマ連続) ⁄3、11/17、12/1、12/ ス:創造パビリオン t			
キーワード	アントレブ	゚レナーシッフ	゚゚゚、チー	ムカ			
履修条件	アントレブ	ー <u>ー</u> シップ	゚゚・マネ	ジメント Ⅰ 及び Ⅱ を履	修済であることが望	ましい。	
授業の目的	Team Bu	ilding理論の)習得				
到達目標	組織行動詞 とスキルの		けるTea	ım Building理論の習得	景を通して受講生の自i	己管理や組織管理に関す	る知識(理論)
		授集回數	_	テーマ / キーワード /	Reading Assignment	クラス演習、クイズ	
		1~2回目		ずクション: アントレプレナー 小学	-と 第1章	討論 (必要があれば、DVDを使用)	
		3~4回目	個人行動	目織とは? かの原理 パーソナリティーと 価値観の変化)	第2章と第3章	グループ課題①	
		5~6回目	モチベー モチベー	ションとゴール: 動機づけ ションと報償: 動機応用 ピーカー1: 起業家 A	第4章 授業配布資料	グループ課題②	
		7~8回目	個人の意		第6章と付属資料	グループ課題③	
授業計画		9~10回目	ll .) カ、チームダイナミズム ァーション	ケース② 第7章、第8章 と第9章	クイズ:ケース②	
		3 1022	ケース③			クイズ:ケース③	
		11~12回目		シップと信頼、政治	第 10 章 第 11 章 第 12 章	グループ課題④	
				ピーカー2: ヤー企業起業家 B	授業配布資料		
		13~14回目	組織文化	きの基礎 ご る組織づくりのために	第 13 章 第 14 章 第 15 章	グループ課題⑤	
		15~16回目	ケース④ Final Cas			クイズ:ケース④ 授業中の試験	
	<u> </u>	15~16回日					
成績評価の方法	・クイズ計4回:1回10点満点(計40点) ・グループ課題計5回:1回10点満点(計50点) ・日常点(クラス討論参加度):20点 ・その他(出欠):15点 ・Final Case 分析: 50点 ・総合:165点満点						
教科書·参考書	「組織行動のマネジメント」Stephen P. Rubbins(高木晴夫訳)ダイヤモンド社(2009年)						
担当教官(所属)	黒木正樹	(立命館大学	<u>*</u>)				
		TEL:077-	561-48	338 N	//ailto:mkt07847@b	a.ritsumei.ac.jp	
学習相談	個別のア	ポイントメント	`				

		科 目 名				
		全学共通科目	テクノロジー・マーケティング I			
テクノロジー・マーケティング Ι		高年次共通科目				
		大学院共通科目	テクノロジー・マーケティング I (特論)			
(単位数)	2 単位	QBS科目				
授業方式	講義形式、ケーススタデ	イ・メソッド				
開講学期及び開講地区等	<開講学期>前期(土曜 <開講日程>4/14、4/2 <開講地区>箱崎キャン	8、5/19、6/2、6/16、6/3	30、7/14、7/21			
キーワード	市場セグメンテーション、	技術のキャズム				
履修条件	なし					
授業の目的	経営学の観点からイノベーション・マネジメントおよび市場創造の基礎知識を紹介し、「技術と市場」の基礎フレームワークを学んで行く。					
到達目標	イノベーションの普及プロセスを理解し、多様な観点から「技術と市場」を捉えること。					
授業計画	第1回(2コマ):イノベーション・マネジメントの基礎 2回(2コマ):マーケティングの基礎、市場細分化の論理 3回(2コマ):技術のライフサイクルとキャズムの論理 4回(2コマ):技術のドミナントデザイン 5回(2コマ):イノベーションの類型と市場戦略 6回(2コマ):オーペン・イノベーション 7回(2コマ):補論とまとめ 8回:期末試験					
成績評価の方法	出席、発表、レポート、試験により総合的に評価する。					
教科書·参考書	ジェフリー・ムーア(2002)『キャズム』翔泳社					
担当教官(所属)	朱 穎(経済学研究院)					
学習相談	TEL:092-64	12-4450	Mailto: shu@en.kyushu-u.ac.jp			
丁日10 00						

科 目 名						
			全学共通科目	テクノロジー・マーケティング Ⅱ		
テクノロジー・マ	テクノロジー・マーケティング Ⅱ		高年次共通科目			
			大学院共通科目	テクノロジー・マーケティング Ⅱ (特論)		
(単位数)	2 単作	立	QBS科目			
授業方式				。このため、本講義は集中講義とする。 D会社として実際に意思決定することで体験的にマーケ		
開講学期及び開講地区等	<開講学期>前期(1 <開講日程>6/9、6/ <開講地区>箱崎キ	23, 7/7	,	ゼミナール室		
キーワード	アントレプレナーシップ	プ、製品	最適設計、マーケ	ティング演習		
履修条件	「テクノロジー・マーケ	「テクノロジー・マーケティング I 」、または「同(特論)」が原則履修済。				
授業の目的	理論としての技術経営論をマーケットで適用し、実践力を養う。					
到達目標	マネジメント・ゲームで製品開発を体験し、どのような製品が受け入れられるのかを学ぶ					
授業計画	高性能な製品が売れるとは限らない。市場に受け入れられる適切な性能、価格等をバランスさせることで売れる商品となる。本講座では、マネジメント・ゲームを使用することで、履修者は企業経営者の立場から製品開発、販路の選択、価格の決定、人事配置、広告・調査等を実際に意思決定することで体験的にマーケティングを学ぶ。 第1回 ガイダンス/チーム編成、マーケティング、MOT基礎復習第3回目~:マネジメントゲーム演習最終回 総括					
成績評価の方法	出席を重視する。出席40%。講義への貢献30%、最終レポート40%					
教科書·参考書	「問題解決手法の知識」(高橋誠、日経文庫)					
担当教官(所属)	玉置 浩伸(ロバート・フ: TEL:092			Mailto:tamaki@qrec.kyushu−u.ac.jp		
学習相談			-	にて日時を調整する。		

		科目名			
		全学共通科目			
研究・技術経営論 一競争力ある研究者、技術者、リーダーになるために一		高年次共通科目	課題科目Ⅱ(研究と技術のマネジメント)		
		大学院共通科目	研究技術・経営論 一競争力ある研究者、技術者になるために—		
(単位数)	2 単位	QBS科目			
授業方式	外部講師からの講義60~70 双方向のクラス運営を行う。		テーマを設定しての討論40~30%程度の割合で構成し、 レポートを課す。		
開講学期及び開講地区等	<開講学期>後期(金曜日4 <開講日程>10/5、10/12、 <開講地区>箱崎キャンパス (遠隔)伊都キャンパス:セン 大橋キャンパス:5号館	10/19、10/26、11/2 ス: 旧工学部本館 ター1号館 1308教:	2、11/9、11/16、11/30 4番講義室		
キーワード	市場、マネジメント、イノベー	ション、アントレプレ	ナーシップ		
履修条件	なし				
授業の目的	専門教育を学んだだけでは社会で通用しない。専門知識とともに、自らの専門分野を含めた世界の様々な環境変化や社会のニーズ、課題等を理解する力を得て初めて、社会に置けるスタートを切ることができる。本講義では、受講する学生に対し、実業界を含めた多様な経験と知識を持った講師陣が、研究や技術を取り巻く課題や環境変化、科学や技術の社会での活かし方、社会における理系人材の生き方等に関する講義を行って、大学における研究や学習の意義、目的、社会的位置づけ等を理解させる。また技術の活用方法、実用化のありかた等を、広い視野から学ぶ機会を提供し、研究や学問への取り組み意欲の向上と目標設定、学び方の指針を与える。理系の人材だけでなく、科学や技術、サービスを扱うビジネスに携わる人材にも有用な講義。				
到達目標	専門分野中心に学ぶ大学の中では知り難い、社会の広い視野、考え方に触れさせ、自らの研究や学問の位置づけ や目標、進め方を問い直し、有効かつ効率的に学ぶ契機を与える。また今後の進路選択への有効な示唆を与える。 また社会に出た場合に、研究や技術をビジネスに生かす上での基本的知識、考え方のヒントを与える。				
授業計画	講義はいわゆる技術マネジメント(MOT)の総合的かつ基礎的講義であり、大学内外で活躍する実業経験のある複数の外部講師が、毎回講義形式にて専門分野の知見を教授する。なお本講義は社会人の聴講を認める(事前登録制)。 講義回数は8回、180分/回(後期前半8週間)。10月5日が第一回目。 下記は2011年度の例: 1. オリエンテーション/イノベーション論 2. 産学連携論 3. 科学と社会論 -科学者・技術者の責任を考える- 4. 研究構想論 -研究構想策定と技術開発ロードマップー 5. 事業戦略・知財マネジメント論 6. 新事業創造論 -新事業創出とアントレプレナーシップ- 7. 研究環境論ーグローバル市場の変容(新興市場の勃興等)が研究に及ぼす影響- 8. 研究開発プロセス論 -企業における研究開発のA to Z- (上記講義タイトル及び順序は暫定的であり、変更の可能性がある)				
成績評価の方法	出席50%、レポート(各回提出)30%、授業での積極性20%				
教科書·参考書	各講師が各授業において提				
担当教官(所属)	谷川 徹(産学連携センター/	(QREC)			
	TEL:092-642-4	360	Mailto:tanigawa@astec.kyushu-u.ac.jp		
学習相談	随時受け付ける。				

科 目 名						
		全学共通科目	アイデア・ラボ Ⅱ			
アイデフ	ア・ラボ Ⅱ	高年次共通科目				
		大学院共通科目	アイデア・ラボ Ⅱ (特論)			
(単位数)	2 単位	QBS科目				
授業方式			、それに対する観察力を高め、グループ演習を通じて、発 す演習を行う。講義の2回程度は外部講師を招聘し、より			
開講学期及び開講地区等	<開講地区>伊都キャンパ (遠隔)箱崎キャンパス:旧二	み)、12/5、12/12、1 ス:センター1号館1: L学部本館 4番講	12/19、1/9、1/16、1/23、1/30 302			
キーワード	アントレプレナーシップ、発熱	思力、創造力				
履修条件	「アイデア・ラボI」、「アント	レプレナーシップ機会	会認知」が原則履修済。			
授業の目的	「アイデアラボ I 」では発想法を「アントレプレナーシップ機会発見」では社会変化の気付きを学ぶ。本講義では、具体的な課題に対する解決策を検討する上での問題解決法を学ぶ。					
到達目標	アイデア・ラボ I に引き続き、発散的思考法・収束的技法を習得する。 特に、常識にとらわれない観察力、発想力を磨くとともに、具体的な課題の評価軸の設定法を習得する。					
授業計画	たくさんのアイデアの中から、精査、選択の過程を経て実際に実行できるものは1つだけ。そうであれば、 最初の段階で数多くのアイデアが創出できなければ、期待する成果は得られないかも知れない。本講義 では身近な材料を用いながら、その使用法、活用法をいかに短時間で多くのアイデアを創出するかの演 習を行う。特に「アイデア・ラボ II 」ではより具体的な課題を対象とする。 第1回 ガイダンス/チーム編成 第2回 問題解決法:発散法と集約法 第3回目~16回:アイデア創出演習					
成績評価の方法	出席を重視する。出席40%。講義への貢献30%、最終レポート40%。					
教科書·参考書	「問題解決手法の知識」(高橋誠、日経文庫)					
担当教官(所属)	五十嵐 伸吾(ロバート・ファン/フ					
学習相談	TEL:092-642-4 授業前後に行う。その他の:		Mailto:igarashi@qrec.kyushu-u.ac.jp にて日時を調整する。			

		科目名			
		全学共通科目			
アントレプレナー	シップ・ファイナンス	高年次共通科目	課題科目 I (アントレプレナーシップ・ファイナンス)		
		大学院共通科目	アントレプレナーシップ・ファイナンス(特論)		
(単位数)	2 単位	QBS科目			
授業方式			資料やケース(事例集)を課題として課す。その上で講義を用いその事例から抽出できる理論面の検討をクラスで		
開講学期及び開講地区等	<開講学期>後期(未定) <開講日程>未定 <開講地区>箱崎キャンパ ※学期、日程、地区の詳細				
キーワード	アントレプレナーシップ、資金	金調達、バリュエーシ	rョン		
履修条件	アントレプレナーシップ・マネ	ヾジメント Ⅰ 及び Ⅱ を	履修済であることが望ましい。		
授業の目的	アントレプレナーシップ・ファ	イナンス及びファント	ぶの理論の習得		
到達目標	ベンチャーキャピタル(VC)を中心とする資金の出し手の投資行動を理解し資金調達法を習得する。 その前提としてVCが運用する投資ファンドの設立・運用方法を習得する。				
授業計画	(開講時に提示する)				
成績評価の方法	講義への貢献、レポート等より総合的に判断する(詳細はガイダンス時に提示する)				
教科書·参考書	リチャード・L・スミス,ジャネット・K・スミス「アントレプレナー・ファイナンス~ベンチャー企業の価値評価とディール・ストラクチャー」(中央経済社)。マイケル・J・コーバー「プライベート・エクイティ~価値創造の投資手法」(東洋経済新報社)				
担当教官(所属)	東出 浩教(早稲田大学ビジネススクール)				
学習相談	TEL:092-642-4 個別のアポイントメント	1014(QREC事務室)Mailto:hiro@waseda.jp		

		科目名				
		全学共通科目				
ビジネスにおり	ナる競争優位性	高年次共通科目	課題科目Ⅲ(ビジネスにおける競争優位性)			
		大学院共通科目	ビジネスにおける競争優位性(特論)			
(単位数)	2 単位	QBS科目	ビジネスにおける競争優位性			
授業方式	を行い、最後に全体討議を	によるスピーチを行 行 う 。	う。その内容をふまえてグループ・ディスカッションと発表 に関連する事例分析を課す。			
開講学期及び開講地区等	<開講学期>後期(火曜日1 <開講日>10/16、10/23、10 <開講地区>箱崎キャンパス (遠隔)伊都キャンパス:センパス	0/30、11/6、11/27、 ス:教室未定 ※WE	.12/18、12/25、1/8 Bシラバス参考			
キーワード	競争優位、コア・コンピタンス	、参入障壁、MOT				
履修条件	関連するQREC科目(アントレプレナーシップ・マネジメント I・Ⅱ、テクノロジー・マーケティング I・Ⅱ)を 履修済みであることが望ましい。					
授業の目的	経営において競争優位の源見	経営において競争優位の源泉となる中核的な能力や資源に着目し、その形成や活用の手法を学ぶ。				
到達目標	個別事例の分析を通じて、競争優位性の形成過程や活用手法にかんする理解を深める。					
授業計画	本講義では、他社に真似できない競争優位の源泉となる中核的な能力や資源(コア・コンピタンスとも呼ばれる)に着目し、技術経営(MOT)におけるそれら能力や資源の形成および活用の手法を学ぶ。下記計画は、講師日程により変更されることがある。 第1回 ガイダンス 第2~3回 コア技術戦略(1) 第4~5回 コア技術戦略(2) 第6~7回 知的財産戦略 第8~9回 アライアンス 第10~11回 産学官連携 第12~13回 技術標準 第14~15回 俊敏性と先発優位					
成績評価の方法	事前課題への対応(30%)、講義やディスカッションへの貢献(50%)、期末レポート(20%)					
教科書・参考書	特に指定しない。必要な資料等は都度配布する。					
担当教官(所属)	高田 仁(経済学研究院)	140	Mailta:mtakata@an kuushu u aa in			
学習相談	TEL:092-642-44		Mailto:mtakata@en.kyushu-u.ac.jp			

			科目名	
			全学共通科目	
地域政策デザイン論		高年次共通科目		
			大学院共通科目	地域政策デザイン論
(単位数)	4	単位	QBS科目	
授業方式			活躍中の有識者、 提言に向けた作業	、専門家などからテーマに沿った講演を聞き、講師とのディ 業に参加する。
開講学期及び開講地区等			則:土曜日午後) イトキャンパス、西	新プラザ。
キーワード	政策 企画立案 均	地域経営 自	立 地域活性化	
履修条件	オリエンテーショ	ンに必ず参加	加すること(日程は	シラバスシステムで確認されたい。多数の場合は選抜。)
授業の目的	画立案できる能力	を持つことがっ	今後極めて重要とな	く地域が自ら将来像を描き、その実現のための方策を自分で企る。授業では具体的な政策テーマについて、現場のニーズをくみ き想で制度を組み立て、自分で政策を立案するプロセスを実体験
到達目標			思題解決のための実 りを身につけることを	践的な方策を見出し、政策提言として取りまとめる過程で、政策 :目標とする。
授業計画	第2回~12回 第13回 政策提 講義・演習は原 フィールドワーク	言発表シンカ 則土曜日午 等を含む。	ポジウム	議室、西新プラザなど) ライトキャンパスにおいて講義と演習を行うほか、合宿、 - 掲載する。
成績評価の方法	積極的参加(609	%)レポート(40%)	
教科書·参考書	必要な資料・文南	ぱはその都度	E紹介	
担当教官(所属)	谷口博文、堀尾	容康(産学連	携センター)	
	TEL	092-642-39	967	Mailto:taniguchi.hirofumi.369@m.kyushu-u.ac.jp, horio@cm.kyushu-u.ac.jp
学習相談	随時メールで受り	け付けます。	面談にも応じます	٥

		科目名				
		全学共通科目	ニュービジネス・クリエーション			
ニュービジネス・クリエーション		高年次共通科目				
		大学院共通科目	ニュービジネス・クリエーション(特論)			
(単位数)	2 単位	QBS科目				
授業方式	2コマ連続講義。技術シード 義の2回程度は外部講師を抗		からいかに新事業創出を行うかグループ演習を行う。講			
開講学期及び開講地区等	<開講学期>前期(土曜日1 <開講日程>10/6、10/20、 <開講地区>箱崎キャンパ	11/3、11/17、12/1、	12/15、1/12、1/26			
キーワード	アントレプレナーシップ、ビジ	ネスプラン策定、M	OT、マーケティング演習			
履修条件	「テクノロジー・マーケティンク	゛Ⅱ」、または「同(物	持論)Ⅱ」が原則履修済。			
授業の目的	QREC科目の「基礎」及び「成立ち上げのプロセスを疑似体		合科目。QREC科目で学んだ内容を適宜活用し1つの事業			
到達目標	実際のビジネスシードから起業機会を分析し、その機会を活用するためのビジネスモデルの構築、その 上で経営リソースを如何に結集させるかの戦略策定までを目標とする。					
授業計画	実際のビジネス・シード(技術シード)を提示し、そこからそれ最終的にはビジネスプラン(事業計画)として結実させるまでのプロセスを学ぶ。履修者は起業家の視点から潜在市場の分析し、それに即した製品開発を推進し、並行してコア・コンピタンス(中核的競争優位)をどのように構築しどう確保するか、販路をどのようにするか、価格をいくらにするか、人事戦略、プロモーション(広告)の戦略等を各回で積み上げながら体験的に事業創造方法を学ぶ。					
成績評価の方法	出席を重視する。出席40%。講義への貢献30%、最終レポート40%					
教科書·参考書	参考テキスト『アントレプレナーシップ』(ウィリアム・バイグレイブ+アンドリュー・ザカラキス、日経BP社) 「問題解決手法の知識」(高橋誠、日経文庫)					
担当教官(所属)	五十嵐 伸吾(ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター) TEL:092-642-4011 Mailto:igarashi@qrec.kyushu-u.ac.jp					
学習相談	授業前後に行う。その他の場	-				

		科目名				
		全学共通科目	ハイテク・アントレプレナーシップ			
ハイテク・アント	レプレナーシップ	高年次共通科目				
		大学院共通科目	ハイテク・アントレプレナーシップ(特論)			
(単位数)	2 単位	QBS科目	起業機会探索			
授業方式	2コマ連続講義。いくつかの利行う。講義の2回程度は外部		示し、その技術から新事業創出を行うかグループ演習を 定。			
開講学期及び開講地区等	<開講学期>前期(金曜日1 <開講日程>4/20、5/11、5/ <開講地区>箱崎キャンパス	/25、6/8、6/22、7/6				
キーワード	アントレプレナーシップ、製品	最適設計、知的財	産			
履修条件	なし					
授業の目的	実践編としてプロジェクト・ベースで技術ベースの事業の立ち上げの実践力を養う。					
到達目標	いくつかの技術シードを用い、技術の種類の違いを意識しながら、対象の技術特有のコア・コンピタンス (中核的競争力)の構築及び確保の方法を学ぶ。					
授業計画	高性能な製品が売れるとは限らない。潜在市場を分析し、市場に受け入れられる適切な性能、価格等を バランスさせることで売れる商品となる。当然、新市場参入後、自社より大きなリソース(経営資源)を持つ 企業の市場参入が予想される。それに備えて、いかに自社のコア・コンピタンス(中核的競争力)を確立・ 確保し、競争状況に打ち勝っていくかを実際の技術シードを用いた体験学習あるいはケース・スタディー を活用して学ぶ。					
成績評価の方法	出席を重視する。出席40%。講義への貢献30%、最終レポート40%					
教科書·参考書	「問題解決手法の知識」(高橋誠、日経文庫)					
担当教官(所属)	五十嵐 伸吾(ロバート・ファン/アントレプ・レナーシップ・センター)					
学習相談	TEL:092-642-40 授業前後に行う。その他の場	-	Mailto:igarashi@qrec.kyushu-u.ac.jp にて日時を調整する。			

IX. QBS提供科目 シラバス一覧

- ※最新シラバスは、九州大学 WEB シラバスを確認して下さい。
- ※QBS 提供科目の履修対象者は、大学院生のみ(学部生は不可)。 また履修するためには、QREC 科目のいずれかを履修している 必要があります。
- ※QBS 提供科目の履修の手順は、P23 をご覧下さい。

		科目名			
		全学教育科目			
ベンチャ	ベンチャー企業論				
		大学院共通教育科目			
(単位数)	2 単位	QBS科目	ベンチャー企業論		
授業方式	請義は、「起業機会探索」と交互 請義でのディスカションの密度を 理論・ケース・スタディーを中心は 全15回の講義のうち、2回程度	高めるために、事前学行 こ、ディスカッション中心(習(分量は極力抑える)を求める。 の双方向型で講義を進める。		
開講学期及び開講地区等	開講学期:前期(隔週講義)	開講地	セ区∶博多駅サテライトキャンパス		
キーワード	アントレプレナーシップ、起業	家精神、ベンチャー	-ビジネス、社内ベンチャー、ベンチャーファイナンス		
履修条件	最大5名まで。必須とはしないが「企業財務」、「組織論」、「戦略論」、「イノベーション・マネジメント」、「ガバナンス」、「M&A」の履修を勧める。				
授業の目的	ベンチャーに「成功の定石」は無い。個々の状況に即した最善の意思決定を行い、行動できる能力の向上 を目指す。				
到達目標	ビジネスアイデアの発案、スクーリーニングからベンチャーファイナンス、組織化のプロセスの全体像の理解。事例研究による疑似体験。				
授業計画	Schumpeter(1912)は、新規に創業した独立系の企業(ベンチャー企業)にイノベーションの担い手との役割を与えた。それ以降、ベンチャー企業は、既存企業に対して競争圧力としてはたらき、市場効率化を促進する役割を果たすイノベーションの源泉の一つと考えられている。現実にインテル、マイクロソフトに代表されるように成功したベンチャー企業は、世界的企業に成長を遂げたばかりではなく、一国の経済・産業をリードする存在になっている。一方、近年、「ベンチャー」を社内に取り組み、企業内イノベーションの実現、あるいは、企業カルチャーの変革の方策として採用する企業も増えてきている(一般に、「コーポレート・ベンチャリング」と称される)。本講義では、「少ない経営資源で如何に事業を立ち上げるか」について討議することによって、新規事業の立ち上げに際するマネジメント能力の向上を目指す。				
成績評価の方法	出席30%…出席と講義への貢献をカウントする。 事前レポート30%…講義の事前準備としてレポート(A4 2枚程度)の2、3回の提出をカウントする。 レポート40%…最終レポートを試験に代替する。(試験は行わない)				
教科書·参考書	適宜、論文・資料等を配布する。講義全体の参考図書としては下記2冊を推薦する。 ・ジェフリー・A・ティモンズ『ベンチャー創造の理論と実践』 ダイヤモンド社、1997 ・田路則子、露木恵美子編著『ハイテクスタートアップの経営戦略』 東洋経済新報社、2010				
担当教官(所属)	五十嵐 伸吾(九州大学ロバート・ファン/アントレプレナーシップ・センター)				
学習相談					

			科目名		
			全学教育科目		
産学連携	マネジメント		高年次教養科目		
			大学院共通教育科目		
(単位数)	2	単位	QBS科目	産学連携マネジメント	
授業方式	など、産学連携に ワークを活用し、シ	関する幅広 ノード技術の	、い基礎知識を、事 D探索と評価、市場	ス、共同研究、大学発ベンチャーと利益相反マネジメント 例分析等を通じて学ぶ。後半では、Quicklookのフレーム 参入のシナリオ、必要となる各種契約条件の検討を含む 講義を行う場合がある。	
開講学期及び開講地区等	開講学期:後期	Ī.	開講地区∶博多駅サ	テライトキャンパス	
キーワード	技術経営(MOT)、	産学連携、	技術移転、科学技	術商業化、知的財産	
履修条件	最大10名まで。MG マネジメント等を履			クグラウンドは必須ではない。企業戦略、イノベーション・	
授業の目的	産学連携を体系的に理解し、大学や公的研究機関が保有する科学技術成果を活用した事業化に必要な 知識とスキルを修得する。				
到達目標	様々な産学連携の)局面におい	ハてwin-winを実現 ⁻	するマネジメント手法について学ぶ。	
授業計画	知識経済では、企業にとって事業開発・技術開発の過程で自前主義に固執することなく、外部資源の導入を選択肢に持つことは重要な戦略のひとつである。このとき、企業間のアライアンスのみならず、大学や公的研究機関との連携によって目的を達成することを戦略の中心に据える例も近年増加している。翻って大学においては、研究成果の社会普及がミッションのひとつに位置づけられ、各所で産学連携への取り組みが活発化している。本講義では、近年注目を集めている産学連携について、その目的や意義、効果などについて学ぶ。具体的には、国内外の具体的な事例を取り上げながら、萌芽的段階にある科学技術を評価し事業化する際のポイントを理解するとともに、実務的に求められる知財のライセンス契約・共同研究契約等の実践的知識、各種シード技術情報の獲得手法、産学連携スキームの構築手法、利益相反のマネジメント手法などを習得する。これら一連の学習を通じ、産学連携を成功に導くスキル修得を目指す。また、Quicklookと呼ばれる科学技術商業化ツールを活用し、大学や公的研究機関が保有するシード技術を新規事業に活用する際の技術評価や市場参入戦略立案のプロセスを学ぶ。本講義は、外部技術の導入によって新規事業を立ち上げる企業経営者や新規事業担当者、起業家、大学やTLO等のライセンス・アソシエイトや産学連携コーディネーター、地域の産学官連携を支援する行政マンを対象とする。				
成績評価の方法	予習(①授業内容の把握、②問題意識のレベル)→ 30% 授業参加(①積極的な授業参加(発言)、②ディスカッションポイントの把握と対応力)→ 40% 学期末レポート → 30%				
教科書·参考書	必要な資料は講義に合わせて配布するが、参考図書としては下記が挙げられる。 ・アントレプレナーの教科書(スティーブン・ブランク著、2009年、翔泳社) ・理工系のための特許、技術移転入門(隅蔵康一著、2003年、岩波書店) ・TLOとライセンスアソシエイト(渡部俊也、隅蔵康一著、2002年、株式会社BKC)				
担当教官(所属)	高田 仁(九州大学				
学習相談					

科 目 名						
			全学教育科目			
アジアの) Asian Industry	産業と企業 and Comp		高年次教養科目			
			大学院共通教育科目			
(単位数)	2	単位	QBS科目	アジアの産業と企業 Asian Industry and Companies		
授業方式	2. Students are	expected to		icted in English ameworks as tools to analyze the cases. The value of ca tical frameworks to the situation being analyzed.		
開講学期及び開講地区等	開講学期:後期	1	開講地区:博多駅†	サテライトキャンパス		
キーワード	Innovation, Entr	epreneur, Ch	ina			
履修条件	・最大6名まで	・英語でディスカッションできること ・最大6名まで ・You are suggested to read one of the books listed in the reference before the course.				
授業の目的	This course is designed to provide useful frameworks to look into technology based innovation in Asian countries.					
到達目標	Understand the frameworks for analyzing key aspect of the technology-intense industry.					
授業計画	The objective of this course is to offer an overview of technological change perspective for those who are involved in new technology creation activities. The course mainly comprise of lectures and cases studies and discussions.					
成績評価の方法	Participation (25%), Final report (50%), Presentation (25%)					
教科書·参考書	 Shane, S. 2005, Finding fertile ground: identifying extraordinary opportunities for new ventures, NJ: Wharton School Publishing. Shane, S. 2008. Technology strategy management for managers and entrepreneurs, Wharton School publishing. 					
担当教官(所属)	朱 穎(九州大学 経済学研究院)					
学習相談						

			科目名			
			全学教育科目			
知的財産管理		高年次教養科目				
			大学院共通教育科目			
(単位数)	2	単位	QBS科目	知的財産管理		
授業方式			を以って補足とする ・演習内容とし、講	。 義・演習中にも質問と討議を多用する。		
開講学期及び開講地区等	開講学期:前期	F	開講地区∶博多駅Ѣ	ナテライトキャンパス		
キーワード	知的財産、特許、	、商標、著作	権、営業秘密、ライ	センス、技術、MOT		
履修条件	特になし、MOTB	関連の基礎科	相			
授業の目的	初心者に対し、知的財産の基礎知識並びに今後自ら考えるための土台を体系的、論理的かつ体験的に習得させる。					
到達目標			楚知識、実務知識等 企業知財マネジメ			
授業計画	先ず、知的財産に関する基礎(6回)として、知的財産の種類、用語の定義、知的財産の歴史と最近の動向、知的財産権の法的保護、なかんづく特許に関する国内及び外国の制度について概説する。次に、知的財産に関する実務(6回)として、知的財産の創造、保護、活用と言われる企業の知的財産業務内容を解説する。特に、特許権利範囲の問題や特許権の行使について議論を深める。更に、知的財産に関する応用(3回)として、企業の知的財産マネジメント及び研究開発・知的財産戦略、知的財産をめぐる内外の動向、アジアにおける知的財産問題、模倣品対策などについて説明し、検討を行う。また、この間適当な時期に、5項目の宿題に対するレポート提出とそれを用いた各人の発表、討議(5回)を行い、知的財産に対する理解を深めると同時に論文発表技術も習得する。					
成績評価の方法	出席率 40点 レポート或いは講義・演習中の理解度 60点					
教科書・参考書	佐伯とも子、京本直樹、田中義敏;知的財産 基礎と活用、朝倉書店 竹田和彦;特許の知識(第7版)理論と実際、ダイヤモンド社 特許庁;産業財産権標準テキスト 特許編、商標編、意匠編、流通編					
担当教官(所属)	吉田 基樹(九州	吉田 基樹(九州大学 経済学研究院)				
学習相談						

			科目名		
			全学教育科目		
生産管理		高年次教養科目			
			大学院共通教育科目		
(単位数)	2 単位		QBS科目	生産管理	
授業方式	講義が半分、宿題に伴っ	意見	見発表と討論が半分	· •	
開講学期及び開講地区等	開講学期:後期		開講地区: 博多駅†	トテライトキャンパス	
キーワード	技術経営(MOT)、生産	管理	、技術革新		
履修条件	特になし				
授業の目的	物造りの歴史を繙く中で先覚者が持つ開拓精神の抽出を試み、その過程で生産、技術センスを磨く。				
到達目標	生産管理論の歴史。生産管理の基本的考え方。技術革新と企業化の歴史。最先端の技術と生産。				
授業計画	[1] 生産管理論 ① 生産管理論の歴史概観 ② 生産管理に関する理論 ① 生産管理論の現状 ① アーキテクチャによるもの造り論(藤本隆宏) ハ) 生産システムの考え方…設計・開発、製造、調達システム こ) もの造り現場の生産管理、技術・技能の伝承、生産平準化 [2] 生産・技術革新史の事例研究 ① 日本における近代工業社会の成立ち ② ベンチャー或は産学協同の嚆矢である理化学研究所と大河内正敏博士 ③ 戦後の革新的企業家・西山弥太郎の挑戦 ④ 生産工程と工場レイアウト、生産設備のあり方 [3] 最先端の生産と技術 ① ミクロ技術…結晶、ナノ ② マクロ技術…ジェット・エンジンと航空機における最新の設計・開発、製造システム ③ 陸・海・空物流と輸送システム				
成績評価の方法	出席率40点、宿題に伴うレポート、期末試験又は期末レポート結果60点。				
教科書·参考書	参考文献を記した講義ノート及び参考資料を随時配布。				
担当教官(所属)	吉田 基樹(九州大学	経済	学研究院)		
学習相談					

		科目名			
		全学教育科目			
イノベーション・マネジメント		高年次教養科目			
		大学院共通教育科目			
(単位数)	2 単位	QBS科目	イノベーション・マネジメント		
授業方式	講義を中心とし、リーディング・アションの成立要因に関する事例:		ース教材に関連するディスカッションを行う。また、各自イノベー にまとめて提出することとする。		
開講学期及び開講地区等	開講学期:前期 「	開講地区∶博多駅サ	ナテライトキャンパス		
キーワード	イノベーション、革新、技術進	步、持続的競争優	位、研究開発、製品開発		
履修条件	最大5名まで				
授業の目的	イノベーションを通じた持続的競争優位の構築に不可欠な知識を習得する。				
到達目標	各回の講義において取り上げられるコンセプトを、具体的な事例に即して理解する。				
授業計画	イノベーションとは、最も伝統的な定義にしたがえば、経済発展の原動力となる諸資源の新結合により経済発展の原動力となる「革新」である。労働および資本ストックという生産要素の投入による成長が限界に直面している今日、持続的な成長を追求する企業にとってイノベーションの創出への組織的な取り組みは不可避の課題となっている。本講義では、イノベーションのマネジメントに要する基礎知識並びに問題発見・解決能力を習得することによって、成長戦略の立案に不可欠な素養を得ることを目的とする。イノベーションには多様な類型があるが、本講義では主として技術的イノベーション(新製品の開発および新工程の導入)を取り上げ、その発生のメカニズムをミクロな視点に立って解明するとともに、イノベーションを促進するための組織構造の特質と戦略の枠組みについて検討する。また、企業が自ら行ったイノベーションから利益を獲得するための条件と、それを規定するマクロな政策的・制度的要因について議論する。この過程で、経営学および経済学の領域において提示されてきた理論を包括的にレビューし、ケーススタディを通じて、その実践的な含意に対する理解を深める。				
成績評価の方法	ディスカッションへの貢献度、講義中に理解度を確認するために行う小テストの結果、および事例分析の 完成度により評価する。なお、4回以上の欠席は不可とする。				
教科書·参考書	教科書:必読論文を配布する。 参考図書:・一橋大学イノベーション研究センター編『イノベーション・マネジメント入門』、日本経済新聞社2001. ・永田晃也編著『価値創造システムとしての企業』学文社、2003. ・R.A.Burgelman, et al., Strategic Management of Technology and Innovation, McGrow-Hill, 2004. (青島矢一他訳『技術とイノベーションの戦略的マネジメント(上)(下)』翔泳社、2007.)				
担当教官(所属)	永田 晃也(九州大学 経済学研究院)				
学習相談					

科 目 名						
知識マネジメント			全学教育科目			
			高年次教養科目			
			大学院共通教育科目			
(単位数)	2	単位	QBS科目	知識マネジメント		
授業方式	講義とケース討論を中心とする。また、課題として任意の組織を取り上げ、その組織におけるナレッジ・マネジメントの導入に関する提案書を作成する。提案書の内容については、レポートとして提出するとともに、第13回~第15回の間にプレゼンテーションを行うこととする。					
開講学期及び開講地区等	開講学期:後期 開講地区:博多駅サテライトキャンパス					
キーワード	組織的知識創造、SECIモデル、ナレッジ・マネジメント、知識資産					
履修条件	最大5名まで					
授業の目的	知識を経営資源として創造、活用、蓄積するための戦略の枠組みを習得する。					
到達目標	各回の講義において取り上げられるコンセプトを、具体的な事例に即して理解する。					
授業計画	本講義は、技術を組織的な知識として捉え直す視点から、その経営資源としての特質を理解するとともに、知識の創造、活用および蓄積に関する経営戦略の枠組みを習得することを目的とする。資本ストックや労働などの生産投入要素の拡大による成長が限界に達した現在、我々は、知識が最も重要な資源となる「知識社会」の到来に直面している。これに伴い、近年の組織論の研究領域では、組織を情報処理システムとして見る伝統的なパラダイムを超えて、知識を創造する主体として組織を捉える新たな理論が提唱されている。また、個人の知識を組織的に共有・活用しながら知識を創造する手法の体系化を指向する「ナレッジ・マネジメント」が、急速に普及してきた。本講義では、上記の理論と経営手法を包括的に取り上げ、両者の関連における問題点に言及する。その際、ナレッジ・マネジメントの表層的な流行現象に追随することなく、その背後にある経営課題の本質と、実践的な解決の指針を探索する。					
成績評価の方法	ディスカッションへの貢献度、ケース分析シートの完成度および課題に関するレポートとプレゼンテーションの評価に よる。 なお、4回以上の欠席は不可とする。					
教科書·参考書	参考図書 ・野中郁次郎、竹内弘高(梅本勝博訳)『知識創造企業』東洋経済新報社、1996年 ・T. H. Davenport and L. Prusak, Working Knowledge, Harvard, 1998(梅本勝博訳『ワーキング・ナレッジ』生産性出版、2000年) ・杉山公造、永田晃也、下嶋篤、梅本勝博、橋本敬編著『ナレッジサイエンス(改訂増補版)』近代科学社、2008年 ・野中郁次郎、泉田裕彦、永田晃也編著『知識国家論序説』東洋経済新報社、2003年 ・永田晃也編著『価値創造システムとしての企業』学文社、2003年 ・S. Fuller, Knowledge Management Foundations, Butterworth-Heinemann, 2002(永田晃也他訳『ナレッジマネジメントの思想』新曜社、2009年)他					
担当教官(所属)	永田 晃也(九州大学 経済学研究院)					
学習相談						

科 目 名						
		全学教育科目				
産業	と政策	高年次教養科目				
		大学院共通教育科目				
(単位数)	2 単位	QBS科目	産業と政策			
授業方式	基礎理論に関する講義の後、受講者自身が選択した個別産業分野の規制枠組みや産業構造等に関して報告を行い、政策の適合性、企業の最適な対応をめぐり質疑・討論を行う。受講者にはテキストを読解するだけでなく、自ら調査を行い、分析を行うことが要求される。(以上はあくまでも現時点での予定であり、受講者の興味に応じて柔軟に対応する。詳細は初講時に決定する。)					
開講学期及び開講地区等	開講学期:前期 開講地区:博多駅サテライトキャンパス					
キーワード	産業政策、市場の失敗、政府の失敗、規制、規制緩和					
履修条件	特になし					
授業の目的	政府の市場介入をめぐる経済理論を学習し、現実の政策展開と市場へのインパクトを理解・分析する力を 習得する。					
到達目標	政策介入の基礎理論を理解するとともに、政策インパクトを分析する力を身につける。					
授業計画	わが国経済は市場メカニズムを基本として運営されているが、市場構造自体の形成には政府の政策が色濃く反映されているケースが多い。公益性を有する産業や、消費者に対するインパクトが大きいと考えられる産業の場合、通常であれば個別企業の意志決定の範疇に属する項目が政府によって決定される場合がある。産業振興、産業再編、企業育成などを目的とした政府の市場介入は枚挙に暇がない。本講義では、「産業政策」の経済理論を概観し、現実の政策展開とそれが市場に及ぼすインパクトを客観的に分析する知見の獲得を目指す。					
成績評価の方法	出席・討論への参加 ······ 30% プレゼンテーション・課題レポート ··· 70%					
教科書・参考書	教科書: 『通信産業の経済学』(実積寿也 九州大学出版会)『新経済学ライブラリ8 公共経済学 第2版』(常木淳 新世社) 参考図書 『産業政策の経済分析』(伊藤元重ほか 東京大学出版会)『ミクロ経済学入門[第2版]』(西村和雄 岩波書店) 『公共経済学入門』(西垣泰幸【編著】 八千代出版)『競争政策論 独占禁止法事例とともに学ぶ産業組織論』(小田切宏之 日本評論社)					
担当教官(所属)	実積 寿也(九州大学 経済学研究院)					
学習相談						

科 目 名					
産業と技術			全学教育科目		
			高年次教養科目		
			大学院共通教育科目		
(単位数)	2	単位	QBS科目	産業と技術	
授業方式	テキストを輪読します。各章ごとに報告者をきめ、報告者が作成した各章の要約と報告者のコメントをもとにして、討論します。課外授業により受講者の懇親をはかり、討論の活性化を促進します。				
開講学期及び開講地区等	開講学期:後期 開講地区:博多駅サテライトキャンパス				
キーワード	イノベーション、フ	ブライクスル-	_		
履修条件	最大10名まで。テキストの購入				
授業の目的	イノベーションがいかにおこなわれてきたか、実例を通して学ぶことで問題を深く考察できるようになる。				
到達目標	諸種の現場に即してイノベーションに関する応用能力を身につける。				
授業計画	テキストはイノベーションについて、豊富な実例をとりあげ体験談を中心に、具体的かつ包括的に説明しています。本書の輪読によって討論を通して、イノベーションについて検討します。本授業は参加者がつくっていく授業です。授業ではテキストに関連して、相互の経験や、関連する業界事例などを出しあい、討論で深めていきます。その意味では通常の講義と同じのような受身の姿勢では、授業としての魅力はとぼしくなりますので、参加者の積極的発言を望みます。				
成績評価の方法	出席(40%)、報告書(30%)、討論への参加状況(30%)で、総合評価する。				
教科書·参考書	マーク・ステフィック/バーバラ・ステフィック『ブレイクスルー : イノベーションの原理と戦略』オーム社、2006年(Mark Stefik and Barbara Stefik, Breakthrough: stories and strategies of radical innovation, Masachusetts Institute of Technology, 2004)				
担当教官(所属)	久野 国夫(九州大学 経済学研究院)				
学習相談					

			科目名		
研究問祭:	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー		全学教育科目		
研究開発マネジメント (社会の変化に対応したモノづくりビジネスと 研究開発マネジメント)			高年次教養科目		
			大学院共通教育科目		
(単位数)	2 単	位	QBS科目	研究開発マネジメント	
授業方式	・次回の講義内容のアウトラインを事前配布するので、各自の考えをまとめておくこと ・講義形式で進めるが、適宜出席者の意見を交えた議論を行う 各自の意見の発表は口頭、資料配布、ppt発表も可				
開講学期及び開講地区等	開講学期:前期 開講地区:博多駅サテライトキャンパス				
キーワード	MOT、モノづくり、社会ニーズ、エネルギーと環境問題への対応、競争戦略、研究開発マネジメント				
履修条件	最大10名まで				
授業の目的	・社会ニーズの変化に対応したモノづくりビジネスの理解 ・企業戦略と実際の研究開発体制/マネジメントプロセスの理解				
到達目標	・エネルギー・環境問題を解決するモノづくり・新製品の開発事例をビジネスモデル設定/投資判断/開発経緯/技術リスクの克服/投資回収の観点から理解				
授業計画	1. 序論 & モノづくりと研究開発マネジメント(メインテナンスビジネスや航空機産業の例) 2. 社会ニーズに対応したモノづくりビジネスの例 ・エネルギー・地球環境問題に関連したビジネスチャンス・各自の意見発表(ビジネス企画) 3. モノづくりビジネス発展の歴史と研究開発 ・企業の研究開発の歴史と発展戦略・各自の意見発表 4. モノづくりビジネスにおける研究開発マネジメントプロセス ・各企業の研究開発体制・各自の意見発表 5. 研究から製品開発までの実例と討議 ・薄膜型大面積太陽電池 ・夜間でも遠距離画像認識が可能なレーザーレーダー				
成績評価の方法	・3回レポート提出:講義トピックスに対する自分の理解や所見、調査結果など ・授業の中での自分の意見発表/討議 ⇒ 上記2項目で成績評価する				
教科書·参考書	・講義資料はその都度コピー配布 ・参考web siteやケーススタディ資料は初回講義時に示す				
担当教官(所属)	太田 和秀(九州大学 工学研究院)				
学習相談					